

水産研究・教育センター（仮称）管理棟建設工事に伴う仮設管理棟賃貸借

建築工事、電気設備工事、機械設備工事		
図面番号	図面名称	縮尺（Ａ１サイズ）
【 建築主体 】		
D-00	表紙・図面リスト	NO. SCALE
D-01	建築工事特記仕様書（その１）	NO. SCALE
D-02	建築工事特記仕様書（その２）	NO. SCALE
D-03	建築工事特記仕様書（その３）	NO. SCALE
D-04	建築工事特記仕様書（その４）	NO. SCALE
D-05	建築工事特記仕様書（その５）	NO. SCALE
D-06	案内図、建物求積図・求積表、配置図、敷地求積図	1/500
D-07	設計概要・室内仕上表	NO. SCALE
D-08	平面図・建具キープラン、法チェック表	1/50
D-09	立面図	1/50
D-10	断面図	1/50
D-11	断面詳細図	1/20
D-12	建具表	1/50
D-13	リース設備 基本図	1/75
D-14	基礎伏図	1/50
D-15	梁伏図・小屋伏図	1/50
D-16	軸組図	1/50
D-17	部材リスト	1/15
D-18	外部階段詳細図	1/15
D-19	壁ブレース詳細図	1/3
D-20	直接仮設図、土工事区分図（参考図）	1/50
【 電気設備 】		
E-01	電気設備工事特記仕様書	NO. SCALE
E-02	構内配置図	1/300
E-03	装柱図・端子盤図	NO. SCALE
E-04	電気設備図	1/50
【 機械設備 】		
P-01	構内配置図・１階平面図	1/300, 1/50

水産研究・教育センター増養殖支場（仮）仮設管理棟建設工事

工事特記仕様書

I 工事概要

1.工事場所
宮崎県延岡市熊野江町2453-11

2.敷地面積
19,757.85㎡

3.工事概要

建物名称	構造	階数	建築面積(㎡)	延べ面積(㎡)	備考
仮設管理棟	軽鋼鉄骨 プレハブ構造	2	72.27	128.92	

上記に係る建築主体（プレハブ（リース品））工事、電気設備工事、機械設備工事

II 建築工事仕様

1 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「標仕」という。)による。

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書、標準仕様書及び標準図を適用する。

(3) 本工事の事務処理に当たっては、宮崎県総務部営繕課制定の工事事務処理要領による。

2 特記仕様

(1) 章は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 項目及び特記事項は、○印の付いたものを適用する。

(3) 特記事項に記載の()内表示番号は、標仕の当該項目、当該図、当該表を示す。

(4) 関係法令の改正等により(条例を含む)、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監督員と協議すること。

別表-1 設備工事との工事区分表

工 事 内 容		●印は工事範囲とする		
		本工事 (建築工事)	電気設備 工事	機械設備 工事
機器の基礎	電 気 関 係	配電盤 ・ 制御盤の基礎	●	●
	機 械 関 係	自家発電機の基礎(アンカーボルトを除く)	●	●
		テレビアンテナ基礎(〃)	●	●
		避雷針の基礎(〃)	●	●
開 口 部	屋上設備	●	●	●
	屋外設備	●	●	●
	架台、アンカーボルト(電気及び機械関係以外)	●	●	●
	特記した基礎(電気及び機械関係以外)	●	●	●
	梁、床、壁	補強を要するもの	●	●
	貫通スリプ	補強を要しないもの	●	●
	梁、床、壁	補強を要するもの	●	●
	貫通型枠	補強を要しないもの	●	●
	軽量鉄骨下地、壁、天井ボード類の切込	補強を要するもの	●	●
	埋込形分電盤	補強を要するもの	●	●
	端子盤等の型枠	補強を要しないもの	●	●
	断熱材着工型枠の切込	補強を要するもの	●	●
点 検 口	上記開口部の補強	●	●	●
	上記開口部の撤出し	●	●	●
	スリプの穴埋め（型枠の穴埋めを含む）	●	●	●
	OAフロア用配線器具	●	●	●
	床、壁、天井	●	●	●
	外部取付カ判	ダクト、チャンパーの接続用フランジを含む	●	●
	湯沸室のフード	●	●	●
	換気扇の取付枠	●	●	●
	流 し 台	排水トラップ共	●	●
	防 油 堤	オイルサービスタンクの防油堤	●	●
床下マンホールの蓋	雨水	●	●	●
	汚水、雑排水	●	●	●
雨水立管（たてどい）	多機能便所	●	●	●
	手すり	上記以外	●	●
化粧鏡	はめ込み洗面器用カウンター（前板共）	●	●	●
	ガスボンベ転倒防止用の鎖	●	●	●
電気配管配線	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ	●	●	●
	防火扉レリーズ	●	●	●
	電極棒	●	●	●
	既製間仕切り壁(パネル工法)の配管及び埋込ボックス	●	●	●
ガス漏れ検知器	配線ビット及びふた	●	●	●
	別途機器などへの接続	●	●	●
電 気 錠	電気錠及び通電金具	●	●	●
	T E Nキー及び制御盤	●	●	●
ユニットバス、ユニットバス内水栓	ユニットバス換気扇	●	●	●
	ユニットバスへの給水給湯管、排水管接続	●	●	●
洗濯機パン	ボード・Tバー	●	●	●
	照明ライン設備プレート	●	●	●
システム天井	空調ライン設備プレート	●	●	●
		●	●	●

① 各章共通事項

● 適用基準等

◎ 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 (令和4年改定)
・ 構内舗装 ・ 排水設計基準 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 (平成27年版)

建築基準法施行令第87条に基づく風圧区分等

◎ 基準風速(Vo) (34) m/s

◎ 地表面粗度区分 ・ I ◎ II ・ III ・ IV

◎ 積雪区分 建設省告示第1455号 別表(39)

● 設備工事との取り合い

施工範囲 図面に特記なき場合は、別表-1による。

施工図等 設備機器の設置、取り扱い等が検討できる施工図を提出すること。
監督員の承認を受けること。

・ 概成工期 (令和 年 月 日)

● 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。

◎ 電気保安技術者

◎ 配置する ・ 配置しない

◎ 施工条件

標仕1.3.5(1)以外の施工条件

・ 図示 ◎ 現場説明書による

◎ 発生材の処理等

・ 引渡しを要するもの (・ 金属類 ・ PCB含有物 ・)

◎ 引渡しを要するもの以外 ◎ 構外搬出適正処理とする

・ 再利用又は再資源化を図るもの ()

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)

・ 対象建設工事

対象建設工事を受注予定の業者は、特定建設資材に係る分別解体等に関する省令で定める様式第1号及び別表1～3のうち当該工事に該当する別表、工程表を作成し、契約締結前に監督員に提出、説明するものとする。

対象建設工事の種類	規模の基準
対象 建築物の解体	床面積の合計 80㎡以上
建設 建築物の新築・増築	床面積の合計 500㎡以上
工事 建築物の修繕・模様替(リフォーム等)	請負代金の額 1億円以上
建築物以外のものの解体・新築等(土木工事等)	請負代金の額 500万円以上

◎ 対象外建設工事

本特記仕様書の各章における下地材、接着剤、仕上げ材、塗料材、家具等のホルムアルデヒド放散量

◎ F☆☆☆☆ ◎ 屋内

・ 屋外 部位等 (・ 図示による ・)

本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASマークの表示の無い材料及び製造等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。

(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること

(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること

(3) 安定的な供給が可能であること

(4) 法令等で定める許可、認可、認定、免許又はこれらに準じるものを取得していること

(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること

(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること

なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することを証明となる資料又は外部機関(一社)公共建築協会他が発行する資料等の写しを監督員に提出して承諾を受けるものとする。

また、商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督員の承諾を受けること。

木材については、宮崎県産材を使用するよう努めるものとする。

標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定する工法とする。

◎ 技能士

本工事中において、下記の◎印は1級技能士を、○印は1級技能士又は2級技能士を適用すること。

工 事 科 目	職 種	作業の種類
仮設工事	とび	◎ とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	・ 鉄筋組立て作業
コンクリート工事	型枠施工	・ 型枠工事作業
左官工事	左官	・ 左官作業
鉄骨工事	とび	・ とび作業
防水工事	防水施工	・ アスファルト防水工事作業 ・ 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業
木工事	建築大工	・ 大工工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	・ 内外装板金作業
左官工事	左官	・ 左官作業
建具工事	サッシ施工	・ ビル用サッシ施工作業
ガラス工事	ガラス施工	・ ガラス工事作業
塗装工事	塗装	・ 建築塗装作業
内装工事	鋼製下地	・ 鋼製下地工事作業
補装工事	表装	・ 壁装作業
	畳製作	・ 畳製作作業
	造園	・ 造園工事作業

(1棟の延床面積が1000㎡を超える建築物又は補装工事で工事金額が500万円を超える工事は、原則として1級技能士とする)

厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督員に報告すること。
なお、測定機器は受注者が購入すること。
測定対象室及び測定箇所数

・ 一般庁舎等 ()

・ 学校施設等 ()

・ 県営住宅等 (戸)以上かつ各住戸2室以上

・ 仕上げ表による

実施する場合の測定対象の化学物質及び濃度指針値(25℃の場合)

・ ホルムアルデヒド(0.08ppm) ・ トルエン(0.07ppm) ・ キシレン(0.05ppm)

・ パラジクロロベンゼン(0.04ppm) ・ 1,4-ジクロロベンゼン(0.88ppm) ・ スチレン(0.05ppm)

測定法

・ 蒸気拡散式分析法(測定パッジ) ・ 定電位電解法 ・ 検知管法

・ 検知紙法 ・ 吸光度法 ()

① 工事写真

(1.2.4)

原則として、電子データで下記のものを監督員に提出する。
撮影方法については、「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)」国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定及び監督員の指示による。

区分	分類・規格	提出方法	提出部数	備 考
着工前	◎ カラー、デジタル写真	◎ CD-R	◎ 1部	・ (部)
	・ (部)	・ (部)	・ (部)	
工事中	◎ カラー、デジタル写真	◎ CD-R	◎ 1部	・ (部)
	・ (部)	・ (部)	・ (部)	
完成時	◎ カラー、デジタル写真	◎ CD-R	◎ 1部	全景は、原則補装工事完了後とする。
	・ (部)	・ (部)	・ (部)	
完成写真	◎ カラー、デジタル写真	◎ 紙	◎ 1部	詳細は、「工事事務処 理要領」による
	・ (部)	・ (部)	・ (部)	

下記のものを監督員に提出する。但し、ネガフィルム等は撮影者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原版寸法(mm)
・ カラー	外部 ・ 4枚以上	・ 2部	・ 100×125以上
・ キャビネット版	・ (枚)	・ (部)	・ ()
	内部 ・ 10枚以上	・ (部)	・ (枚)

・ 電子データをCD-R等で提出する

(1.7.1、2) (表1.7.1)

・ 2つ折り製本 ・ 1部 ・ (部)

設計変更等に伴う図面修正は、受注者が行うこと

・ 修正CADデータ及びPDFデータ ・ 1部 ・ (部)

設計変更等に伴う図面修正は、受注者が行うこと

(1.7.1、3)

・ 2部 ・ (部)

保全情報データシート

・ 電子データにより、監督員に提出する

・ 紙面により、監督員に提出する

◎ 図示による

② 監督員事務所

(2.3.1)

・ 設ける

規模 ・ () m程度

仕上げ 監督員の指示による。

設備 ・ 電灯 ・ 給排水 ・ 空調 ・ ()

備品 ・ 机 ・ イス ・ 長靴 ・ かつぱ ・ 保安帽 ・ 懐中電灯 ・ () ・ ()

◎ 設けない(但し、受注者事務所に打合せスペースを確保すること)

本工事に必要な工事用水、工事用電力(基本料金を含む)及び官公署等への諸手続、その他建築物引き渡しまでに要する費用は、全て受注者の負担とする。

構内既存の施設

工事用水 ・ 利用できる (・ 有償 ・ 無償) ◎ 利用できる

工事用電力 ・ 利用できる (・ 有償 ・ 無償) ◎ 利用できる

(2.2.4)

屋根面に設ける足場と装備機材の組合せ

・ 別途 ・ 図示

③ 埋戻し及び盛土

(3.2.3)(表3.2.1)

材料及び工法

◎ 標仕(表3.2.1)による

種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ◎ D種

C種の場合

(発生場所)

(連絡先)

(運 搬 ・ 発生原因者側 ・ 本工事)

・ 材料 () 工法 ()

④ 建設発生土の処理

(3.2.5)

・ 構内指示の場所にたい積

◎ 構内指示の場所に敷き均し

・ 構外搬出適正処理

・ 構外指示の場所に搬出

受け入れ場所 () 搬出距離 (km)

上記に示す指示等の実施にあたっては、監督員と協議のうえ決定する。

(3.3.3)

・ 山留の撤去

鋼矢板等の抜き後 ・ 砂で充填 ・ ()

④ 地盤調査の結果

地 業 工 事

◎ 支持地盤

(3.2.1)(4.2.4)(4.3.4、5)(4.4.4)(4.5.5、6)

・ 杭基礎

支持地盤の種類及び位置(基礎ぐいの先端の位置含む)

・ 図示による ()

◎ 直接基礎

支持地盤の種類及び位置(基礎底部の位置含む)

・ 図示による ()

長期設計支持力

◎ (50) kN/m2 ・ ()

試験堀(根切り底)による支持地盤の確認

(3.2.1)

・ 行う 位置等は図示による () ・ 行わない

(4.2.4)

地盤の載荷試験

・ 行う 試験の位置、方法等は図示による () ・ 行わない

建築工事特記仕様書(その7)

(4.6.2)

材料 ・ 再生クワッツァン ・ 切込砂利及び切込砕石

(4.6.3)

厚さ及び使用範囲

厚さ 使用範囲

・ 60 基礎スラブ下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下

・ 図示 ()

(4.6.4)

コンクリートの仕様

(4.6.4)(6.1.4-1~3)

・ 無筋コンクリートによる ・ ()

(6.3.1)

セメントの種類

・ 高炉セメントB種 ・ ()

厚さ及び使用範囲

(4.6.4)

厚さ 使用範囲

・ 50 基礎スラブ下、基礎梁下、土に接するスラブ下

・ ()

設計基準強度 ・ 18N/㎡ ・ ()

スラブ ・ 15cm ・ 18cm ・ ()

(4.6.2、5)

施工範囲 ・ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ビット下を除く)

ただし、断熱材がある場合は、断熱材の直下 ・ ()

材料 ・ ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ・ ()

・ 中間処分施設へ搬入、処理 ・ 構内中間処理、埋戻し ・ 管理型処分施設へ搬入

⑤ 鉄筋の種類

(5.2.1)(表5.2.1)

種類の記号	呼び名(mm)	備考
◎ SD295	◎ D16以下	
・ SD345	・ D19以上	

継手方法等

(5.3.4)(5.5.2、3)

柱、梁の主筋

・ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 ・ 重ね継手

耐力壁の鉄筋

・ 重ね継手 ・ ()

その他の鉄筋 () ◎ 重ね継手 ・ ()

隣り合う継手の位置

先組み工法等により、柱、梁の主筋の継手が同一箇所 ・ 設ける (・ 図示による ・) ・ 設けない

・ 鉄筋の定着長さ

(5.3.4)

機械式定着工法

・ 適用する

適用箇所 ・ 図示による () ・ ()

種類 ・ 摩擦圧接接合 ・ 鋼合グラウト固定 ・ 鋼合グラウト固定

工法 ・ 第三者機関の評定等を取得している工法とする ・ ()

⑥ 鉄筋のかぶり厚さ

(5.3.5)

・ 傷害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所の最小かぶり厚さは

下表による

施工場所	標仕(表5.3.6)の値に加える寸法(mm)
柱・梁・壁及び底などの外気に接する	・ 10 ・ ()
打ち放し面	・ ()

最小かぶり厚さは目地底から算出する。

◎ 図示による (各部配筋詳細図)

(5.3.7)

抜取試験 ・ 超音波探傷試験 ・ 引張試験

(5.4.10)

使用箇所

(5.5.3)

性能 (H12報告第1463号に適合するもの)

・ A級 ・ ()

種類

・ ねじ式鉄筋継手

充填方式

・ 無機グラウト方式 ・ 有機グラウト方式

・ 端部ねじ加工継手

・ モルタル充填式継手

鉄筋相互のあき

・ 評定等の評価内容による

(5.5.5)

施工完了後の継手部の試験

・ 外観試験

試験項目 ・ 評定等の評価内容による ・ ()

試験方法 ・ 評定等の評価内容による ・ ()

・ 超音波測定試験

試験対象 ・ 全数 ・ ()

不良となった継手の修正方法等

・ 図示による ()

宮崎県建築工事特記仕様書

宮崎県総務部営繕課

令和7年4月版

建築士事務所名

株式会社 ごとう計画・設計

一級建築士事務所 宮崎県知事登録

第H-1080

号

一級建築士登録

第 310283

号

工事名称

水産研究・教育センター（仮称）管理棟建設工事に伴う仮設管理棟賃貸借

図面名称

建築工事特記仕様書（その1）

検 図

図面番号

D 01

10 石工事 11 タイル工事 12 木工事 13 屋根及びとい工事 14 金属工事 15 左官工事

宮崎県建築工事特記仕様書

宮崎県総務部営繕課 令和7年4月版

建築士事務所名 株式会社 ごとう計画・設計

一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第H-1080 号 一級建築士登録 第 310283 号

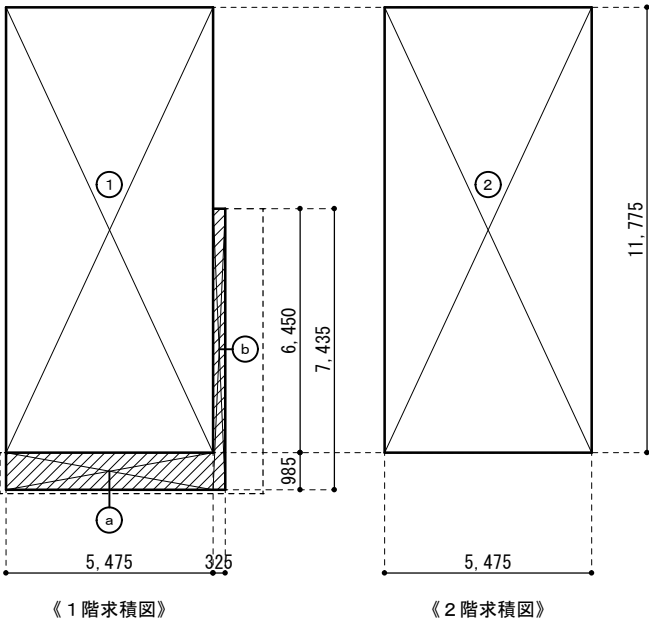
工事名称 水産研究・教育センター（仮称）管理棟建設工事に伴う仮設管理棟賃貸借

図面名称 建築工事特記仕様書（その3）

図面番号 D 03

[illegible]

[illegible]

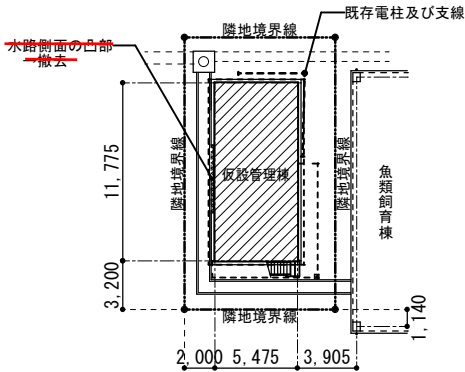
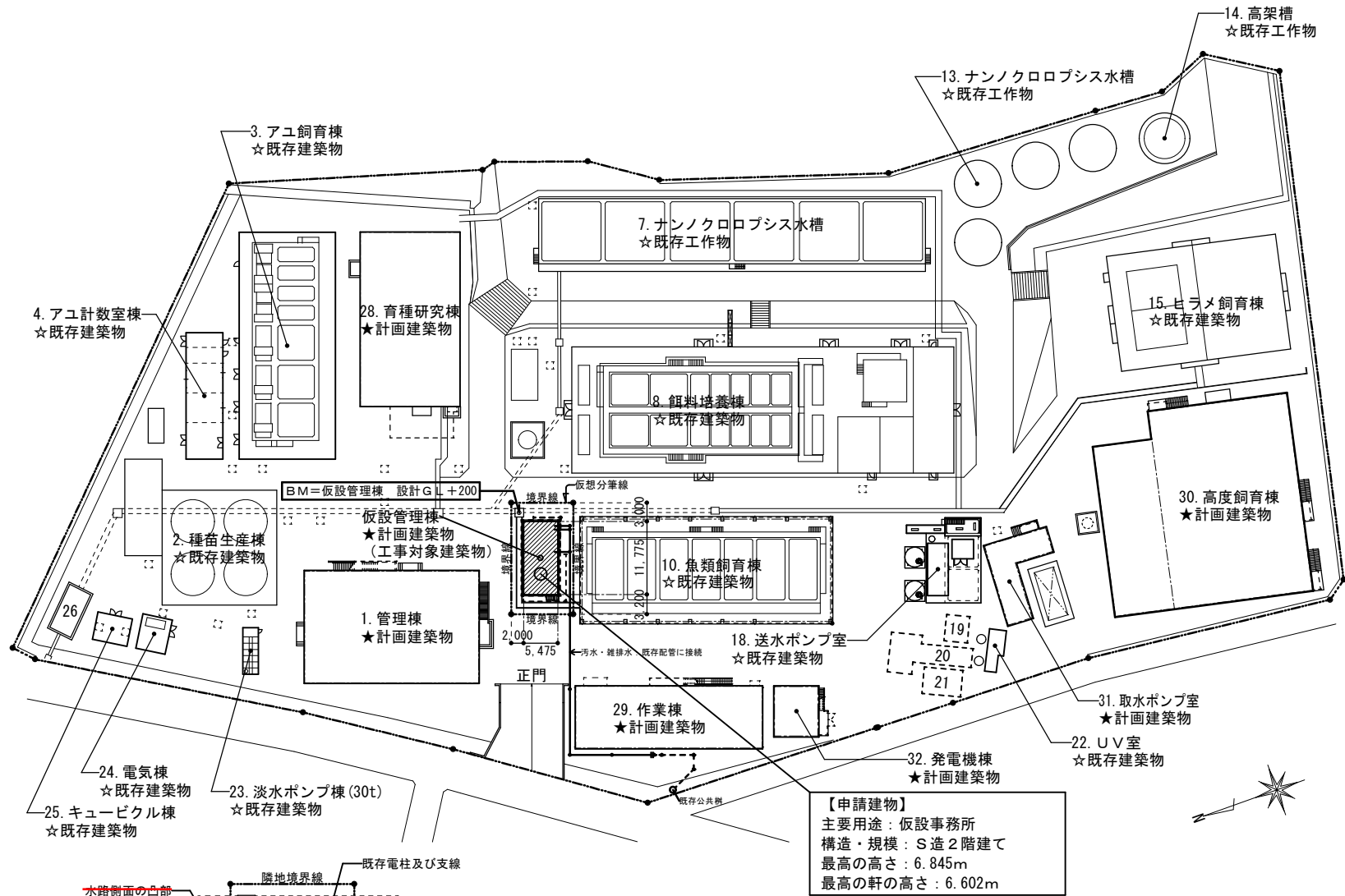


倉庫 1階 床面積求積表 ※最終 小数点3位切捨て				
階	番号	計 算 式	少々計 (㎡)	少計 (㎡)
1 階	①	5.475 × 11.775		64.4681
1 階一計				64.4681 ↓ 64.46

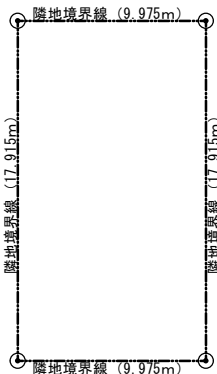
倉庫 2階 床面積求積表 ※最終 小数点3位切捨て				
階	室 名	計 算 式	少々計 (㎡)	少計 (㎡)
2 階	②	5.475 × 11.775		64.4681
1 階一計				64.4681 ↓ 64.46

倉庫 延床面積		
1 階 床面積 (㎡)		64.46
2 階 床面積 (㎡)		64.46
延床面積		128.92

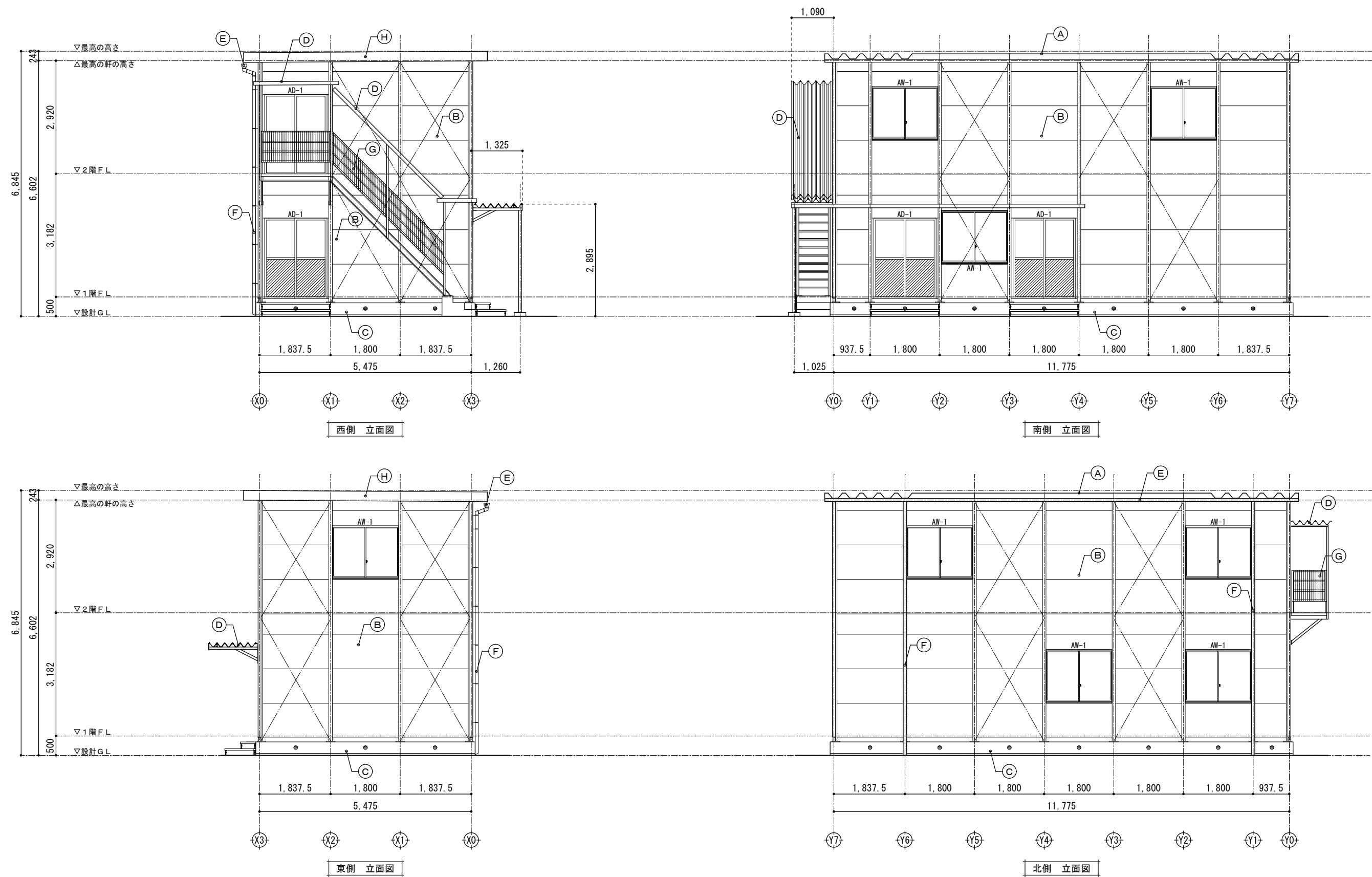
倉庫 建築面積 ※最終 小数点3位切捨て		
番号	計 算 式	少計 (㎡)
1 階 床面積 (㎡)		64.4681
④	5.475 × 0.985	5.3929
⑤	0.325 × 7.435	2.4164
建築面積一計		72.2774 ↓ 72.27



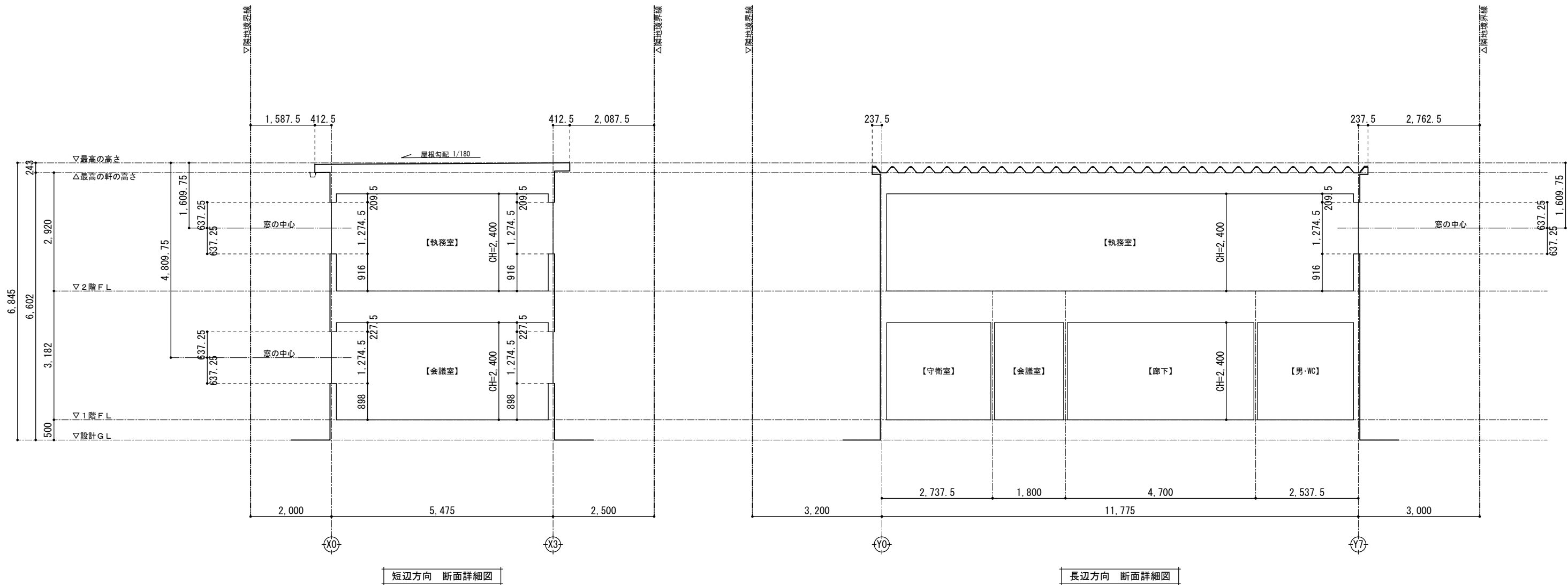
1 管理棟	9 欠番	17 欠番	25 キュービクル棟
2 種苗生産棟	10 魚類飼育棟	18 送水ポンプ室	26 排水ビット
3 アユ飼育棟	11 欠番	19 欠番	27 欠番
4 アユ計数室棟	12 欠番	20 欠番	28 育種研究棟
5 欠番	13 ナンノクロブシス水槽	21 欠番	29 作業棟
6 欠番	14 高架水槽	22 UV室	30 高度飼育棟
7 ナンノクロブシス水槽	15 ヒラメ飼育棟	23 淡水ポンプ棟 (30t)	31 取水ポンプ室
8 餌料培養棟	16 欠番	24 電気棟	32 発電機棟

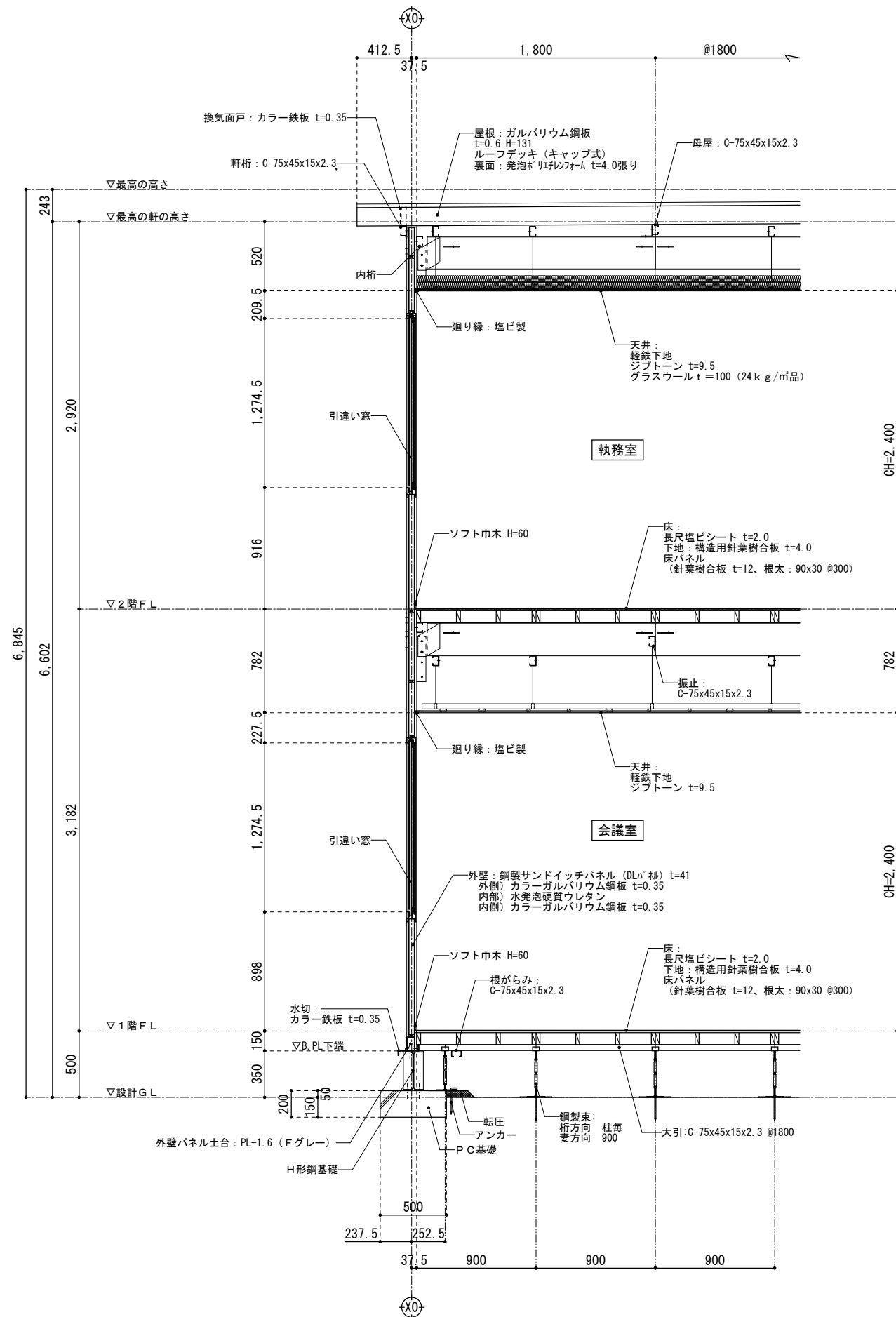


《 仮設分筆敷地面積 》
9.975 × 17.915
=178.702㎡→178.70㎡
※ (敷地全体 : 19,757.85㎡)

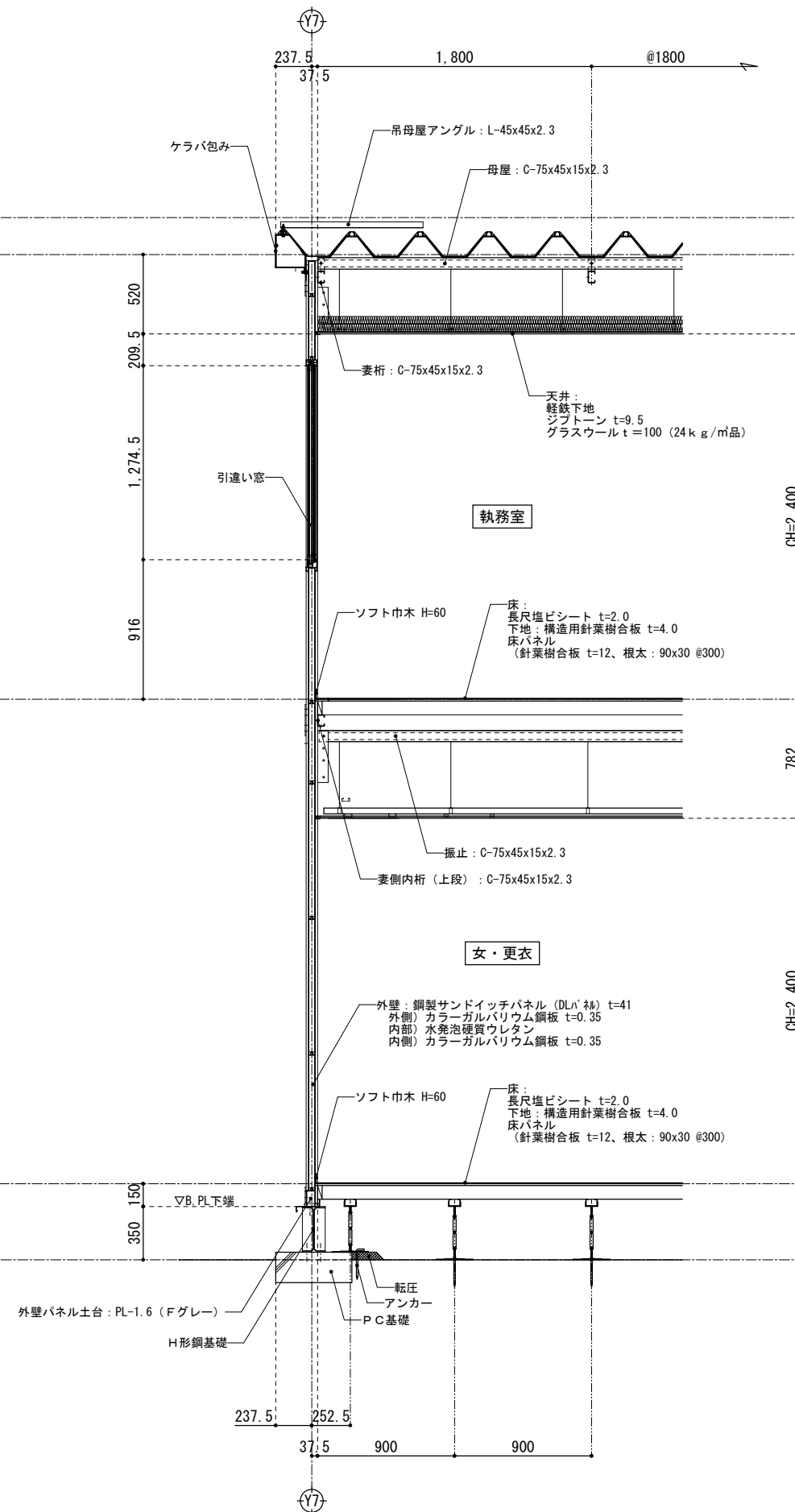


外部仕上げ 凡例				
(A)	屋根 ガルバリウム鋼板折板葺き t=0.6 H=131	(D)	底屋根 ガルバリウム鋼板 t=0.5 H=88	【その他】
(B)	外壁 鋼製サンドイッチパネル t=41	(E)	軒どい 塩ビ製角樋 U120	
(C)	外部幅木 H形鋼基礎表し	(F)	竪どい 塩ビ製 φ75	
		(G)	腰壁 鉄骨格子組+カラー鉄板張り t=0.16	
		(H)	ケラバ包み 屋根同材	



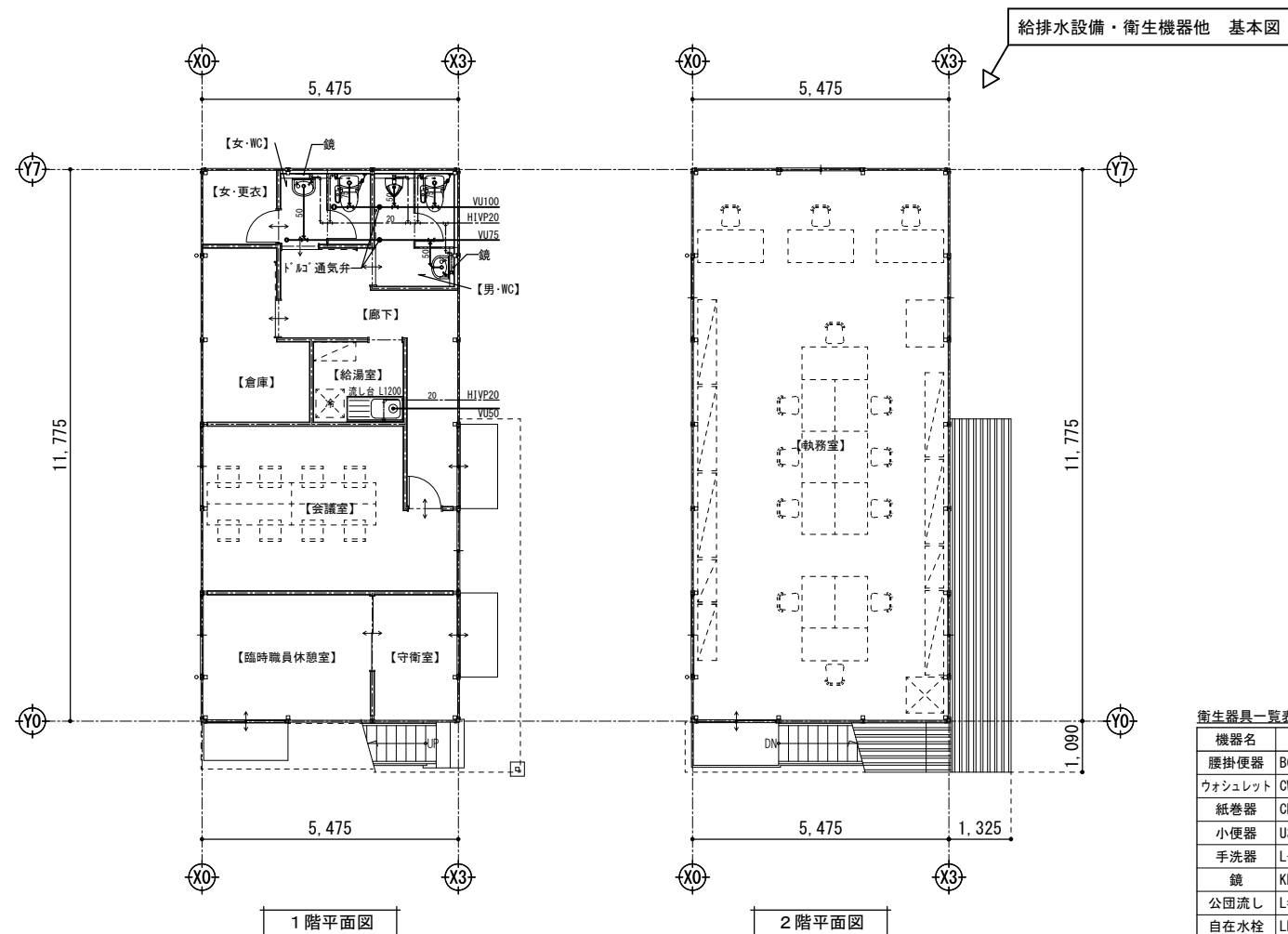
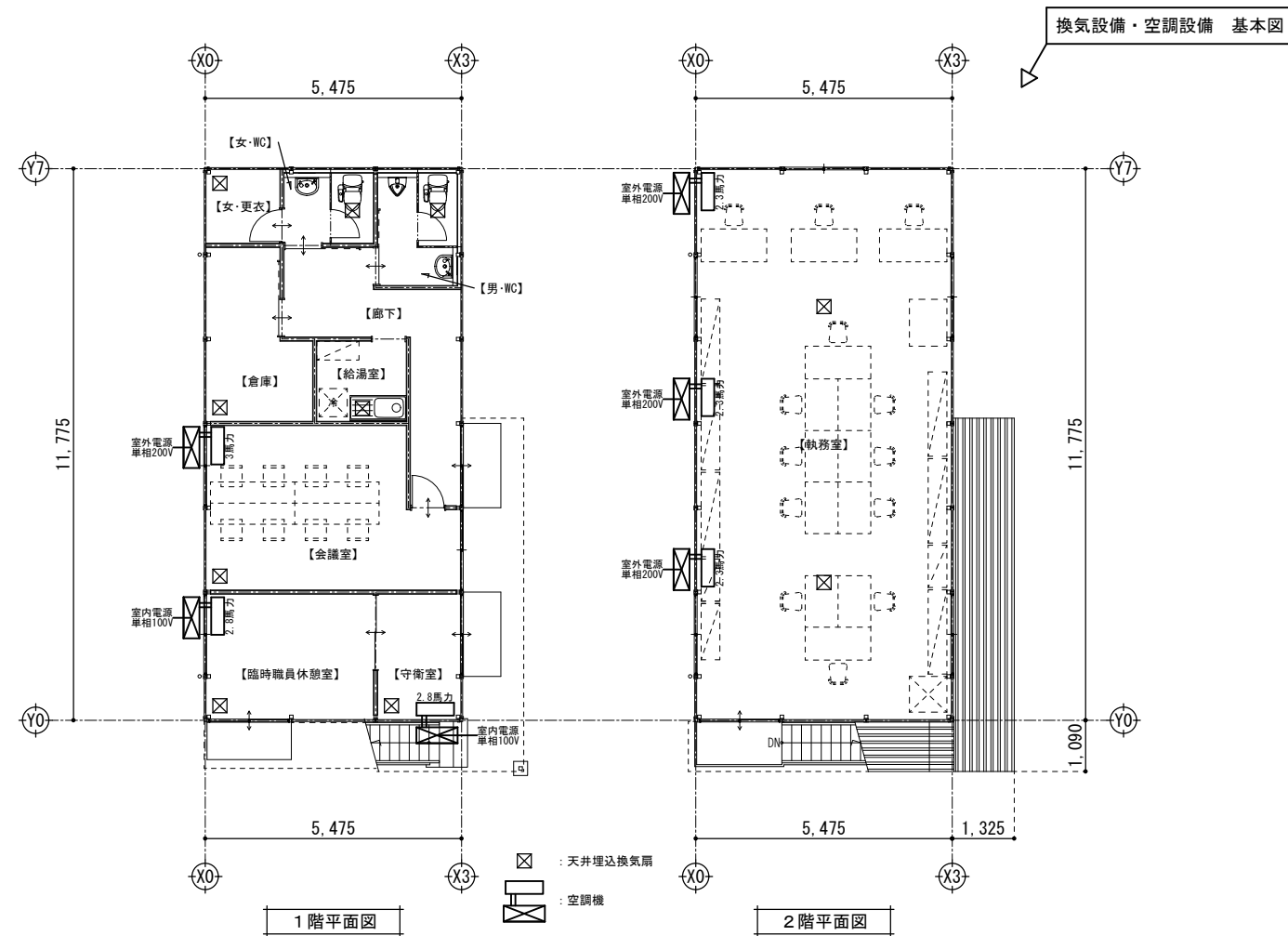
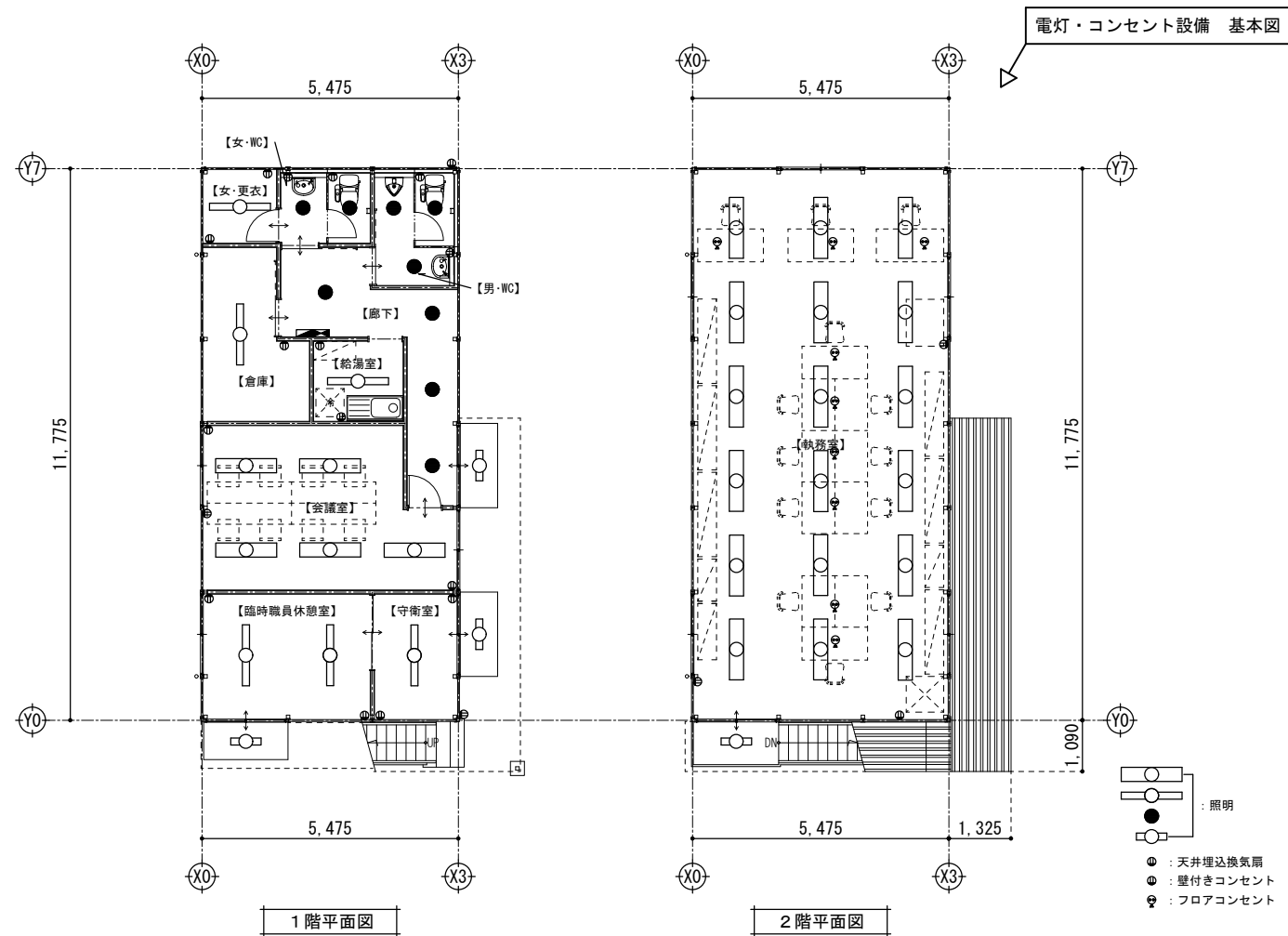


短辺方向 断面詳細図

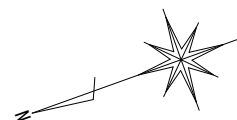


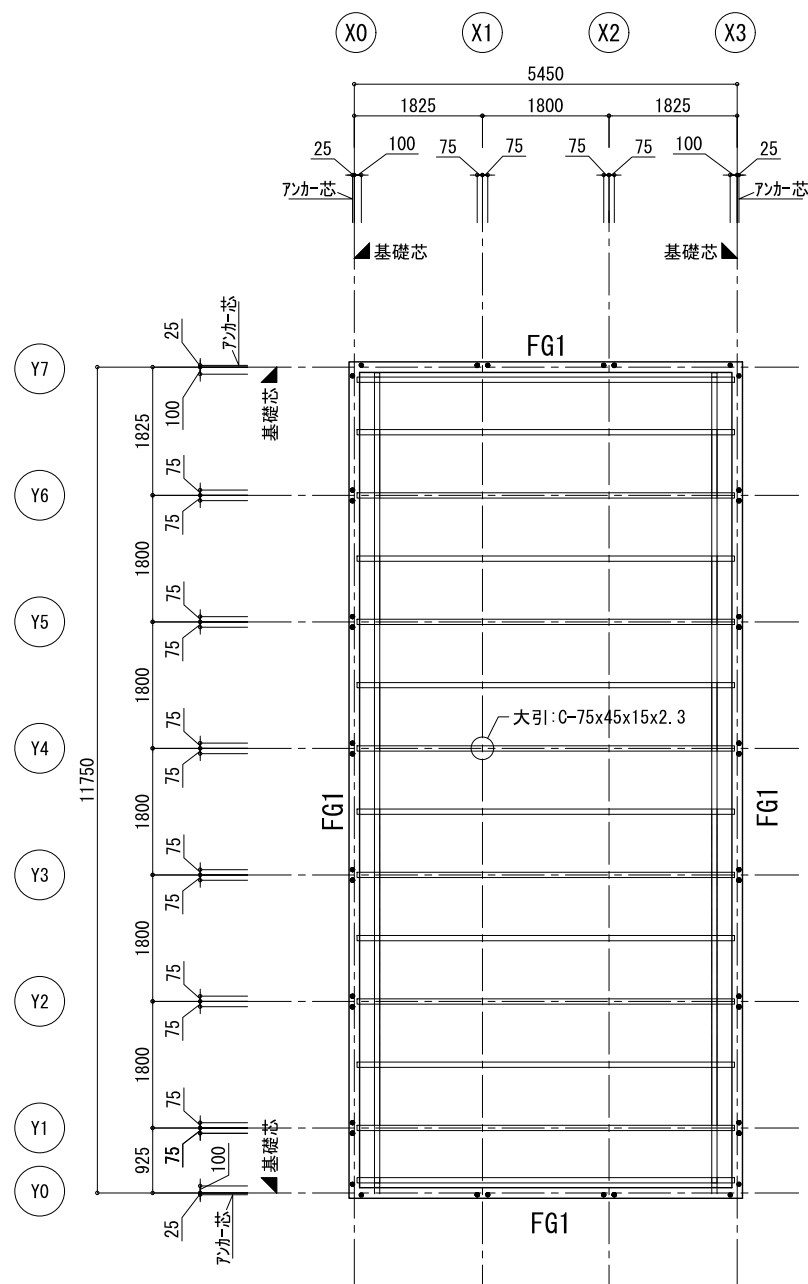
長辺方向 断面詳細図

符号・設置場所・数量			1階	2階	1階	2階	符号・設置場所・数量			1階	2階	1階	2階	符号・設置場所・数量			1階	2階	1階	2階														
1AW			1階：臨時職員休憩室、会議室 2階：執務室		3	5	1AD			1階：臨時職員休憩室、守衛室、廊下 2階：執務室		3	1																					
形状・寸法	∕：ガラスを示す																																	
	《1階》《2階》																																	
	※クレセント高さはFL+1,500以下																																	
	アルミニウム製建具 引違い窓																																	
型 式	アルミニウム製建具 引違い戸																																	
材種・仕上げ	アルミ(シルバー)																																	
枠見込(厚見込)	70																																	
硝 子	上：FL3 下：アルミ複合板																																	
付 属 金 物	引手、SUS宙指、こり出し錠(外部)、クレセント(内部)、戸車 他付属金物一式																																	
備 考																																		
符号・設置場所・数量			1階	2階	2WD	1階	2階	3WD			1階	2階	4WD			1階	2階	1階	2階															
1WD			1階：倉庫、女・WC、男・WC		3		1階：女・更衣	1		1階：守衛室	1		1階：会議室	1		1階：給湯室	1																	
形状・寸法																																		
型 式	木製建具 片引き戸																																	
材種・仕上げ	化粧シート張り																																	
枠見込(厚見込)	155(30)																																	
硝 子	—																																	
付 属 金 物	引手、丸型表示錠、クローザー、明り窓、調整戸車 他付属金物一式																																	
備 考																																		
符号・設置場所・数量			1階	2階	2TB	1階	2階																											
1TB			1階：女・WC		1		1階：男・WC	1																										
形状・寸法																																		
	トイレブース																																	
材種・仕上げ	ポリ合板																																	
枠見込(厚見込)	30																																	
硝 子	—																																	
付 属 金 物	表示付スライドラッチ、丁番 他付属金物一式																																	
備 考																																		
建具符号	記 号	扉(D)	窓(W)	ガラリ(G)	シャッター(S)	枠(F)	PS扉(PS)	種類	符号	種類	符号	管指の符号・形状	種類	符号	1	2	3	4	建具性能等	共通事項	1	位置・開き勝手等は平面図又は建具キープランによる。	9	防火設備、特定防火設備及び防煙垂れ壁に該当する部分のドアクローザーはストッパーなしとする。										
	ステンレス製(SS)	SSD	SSW	SSG	SSS	SSF	PSSD		F	熱線吸収網入磨き板	HAPW			L											S	S								
	銅 製(S)	SD	SW	SG	SS	SF			FL	合わせ	L			S											S									
	鋼製軽量(LS)	LSD			LSS				FW	強化透明	T			B											B									
	アルミニウム製(A)	AD	AW	SSW		AF			FWL	強化型板	FT			W											W									
	木 製(W)	WD	WW	WG		WF			PWL	複 層	SI			T											T									
	ふ す ま	H							PWL	ガラスブロック	GB			TB											TB									
	障 子	P							HA	空気層	A			A											A	A								
	・アルミニウム製建具の仕様は、特記仕様書及び共通仕様書による。																								10	引き戸は自閉式とし、完全に閉まる前に一旦止まってから閉まる形式のものとする。								
	2 符号数字横のBは防火設備(防火戸)、Tは特定防火設備を示す。																																	
3 上記寸法は枠内法有効寸法を示し、製作図作成・製作にあたっては再度現場調整を行うこと。(タイル割付等)																																		
4 建築基準法上の採光窓(扉)・換気窓(扉)・排煙窓(扉)となっている建具は、上記有効寸法以上確保すること。																																		
5 排煙窓の開き角度は4.5度以上とする。																																		
6 内部建具の枠見込みは参考とし、壁厚(仕上げ含む)+20mm~+30mmを標準とする。																																		
7 建具金物は原則としてSUS製とし、見本品提出の上決定とする。																																		
8 戸当りは原則床付きとし、外部に面する開き戸の戸当たりはアオリ止め付きとする。																																		
																			11	外部に面するガラリは全て防虫網付きとし、ガラリ形状は、外部は水返し付ガラリ、内部は山形ガラリとする。														
																			12	建具の色については色見本確認の上決定すること。														
																			13	Low-Eは「日射取得型」。														
																			14															
																			15															
																			16															

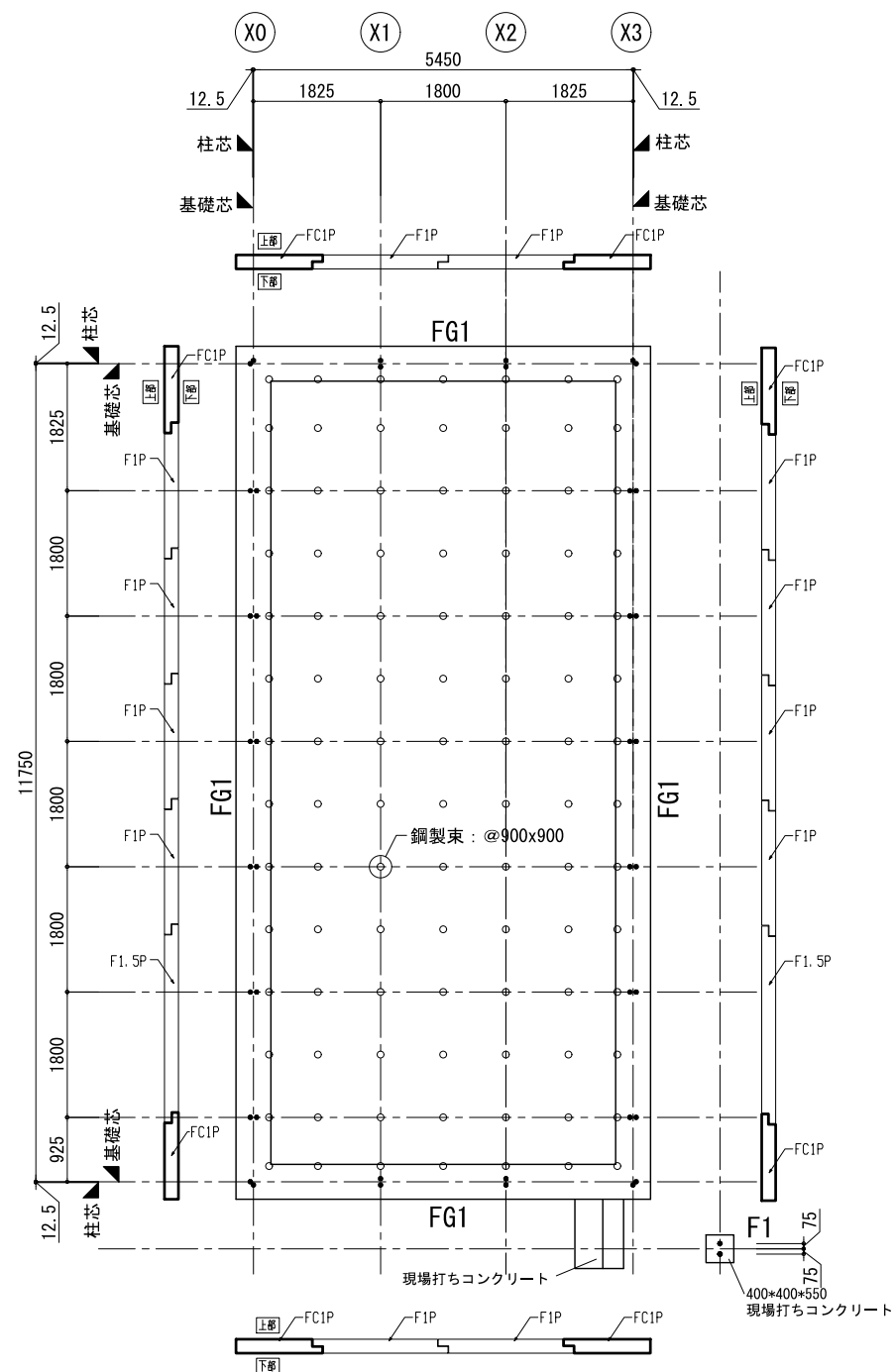


衛生器具一覧表				
機器名	品番 (同等品)	数量	単位	備考
腰掛便器	BC-110STU / DT5500BL	2	セット	リサイクル品
ウォシュレット	CW-KB32	2	セット	リサイクル品
紙巻器	CF-AA22H	2	個	リサイクル品
小便器	U331RM / UF-3J (押しボタン式)	1	セット	リサイクル品
手洗器	L-132G / LF-3JT/ (排水Sトラップ式)	2	セット	リサイクル品
鏡	KF-3545 (356×5×457)	2	枚	リサイクル品
公団流し	L=1200	1	台	リサイクル品
自在水栓	LF-12-13-U	1	個	リサイクル品

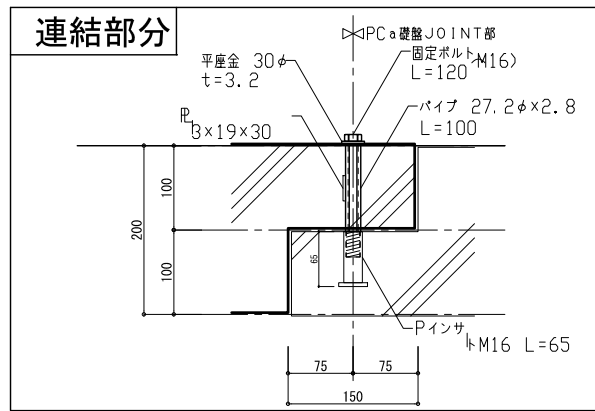
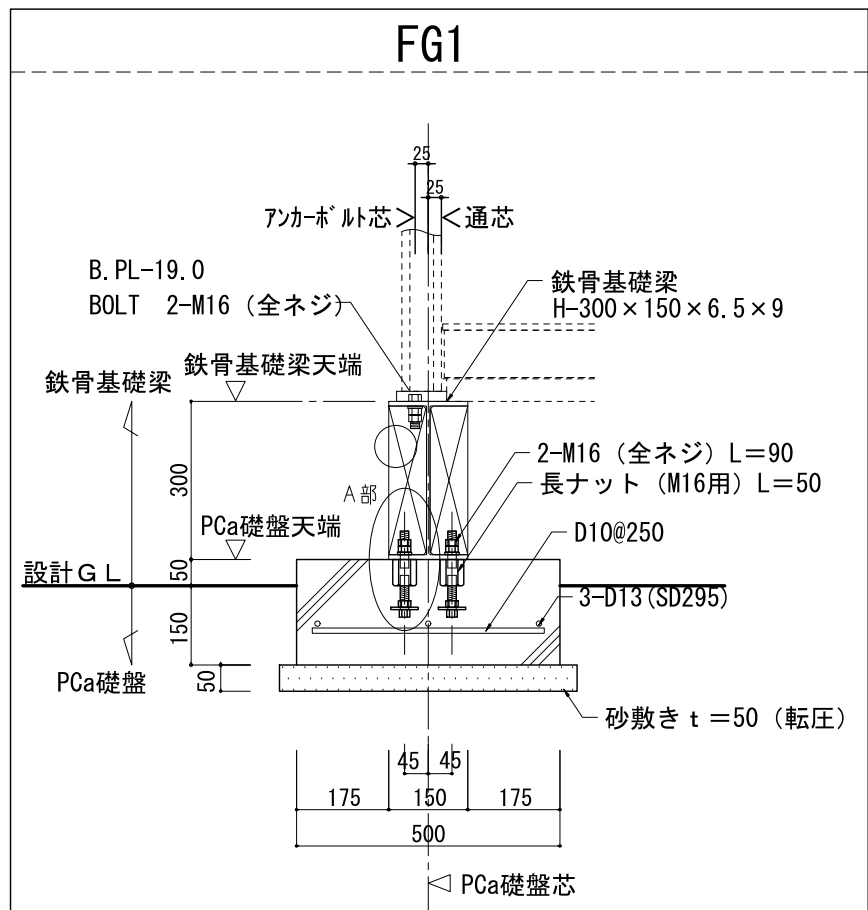




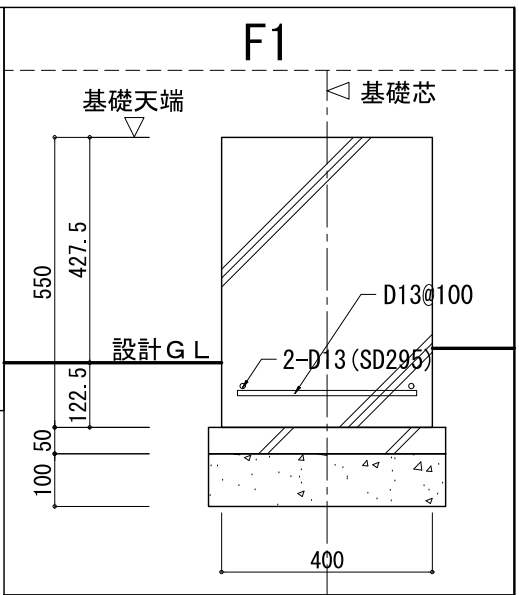
H鋼基礎伏図



PCベース伏図

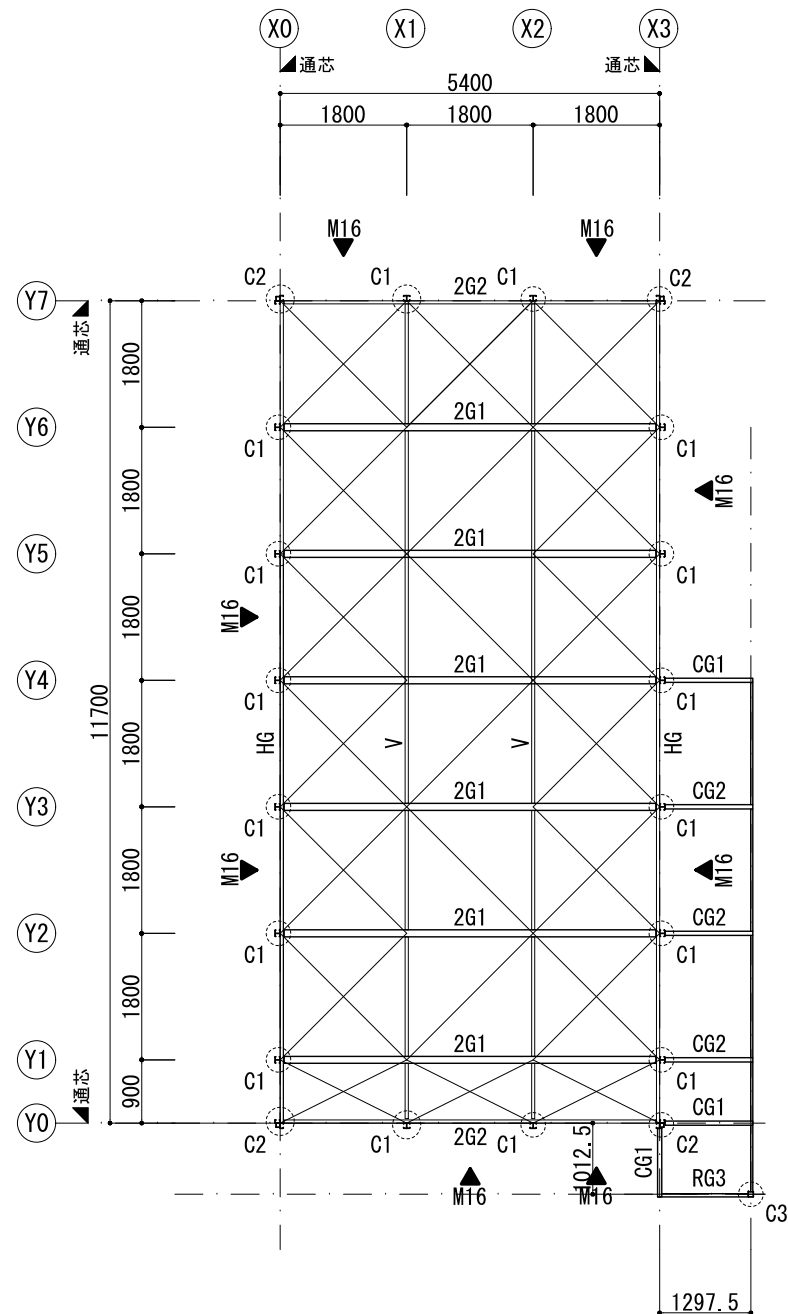


使用材料等	
■プレキャストコンクリート	■現場打設部
・コンクリート : $f_c=30\text{N/mm}^2$	・コンクリート : $f_c=21\text{N/mm}^2$
・鉄筋 : SD295	・鉄筋 : SD295 (D16以下)
【設計地耐力】	
50kN/㎡ (長期)	100kN/㎡ (短期)

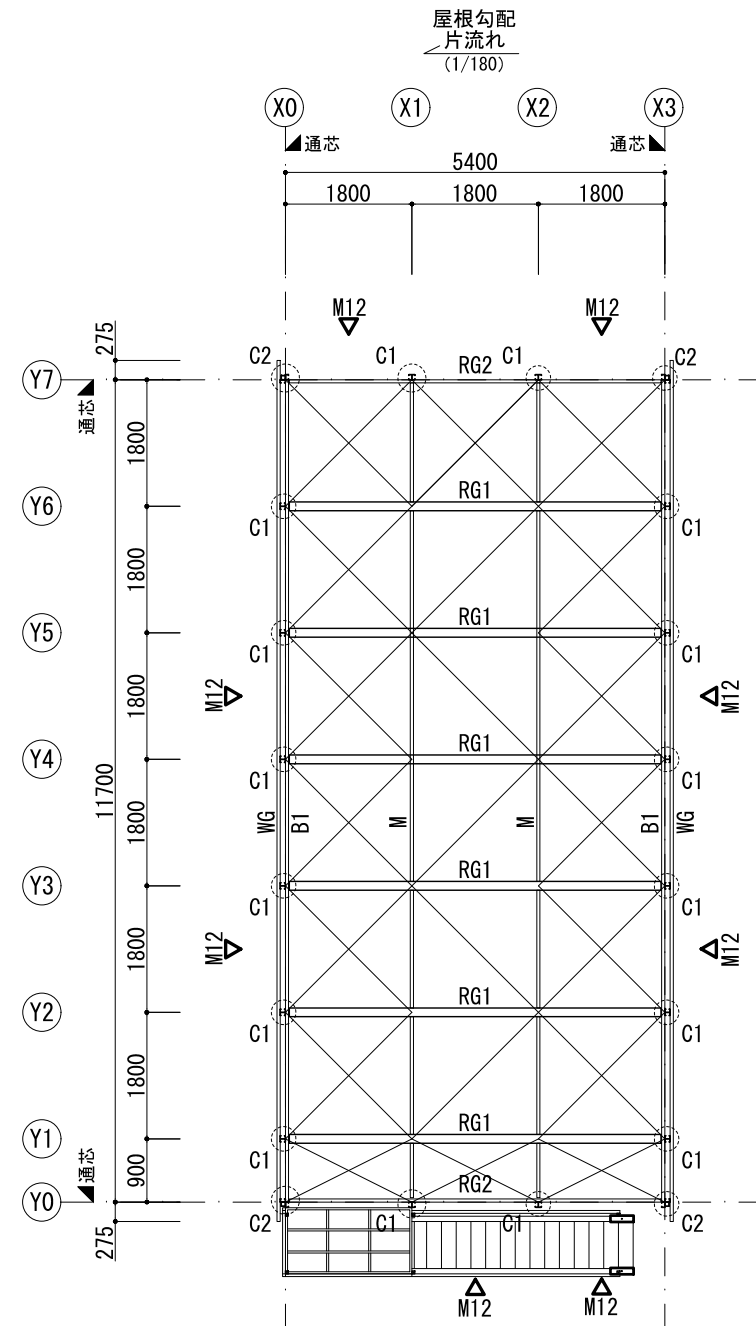


PCa基礎リスト ※PCa基礎は、下記の組み合わせにより構成する

F1P	1. 0K用 (有効 : L = 1, 800)	FT1P	耐力部用 (1)	FC1P	コーナー部用	F1.5P	1. 5K用 (有効 : L = 2, 700)	FT2P	耐力部用 (2)



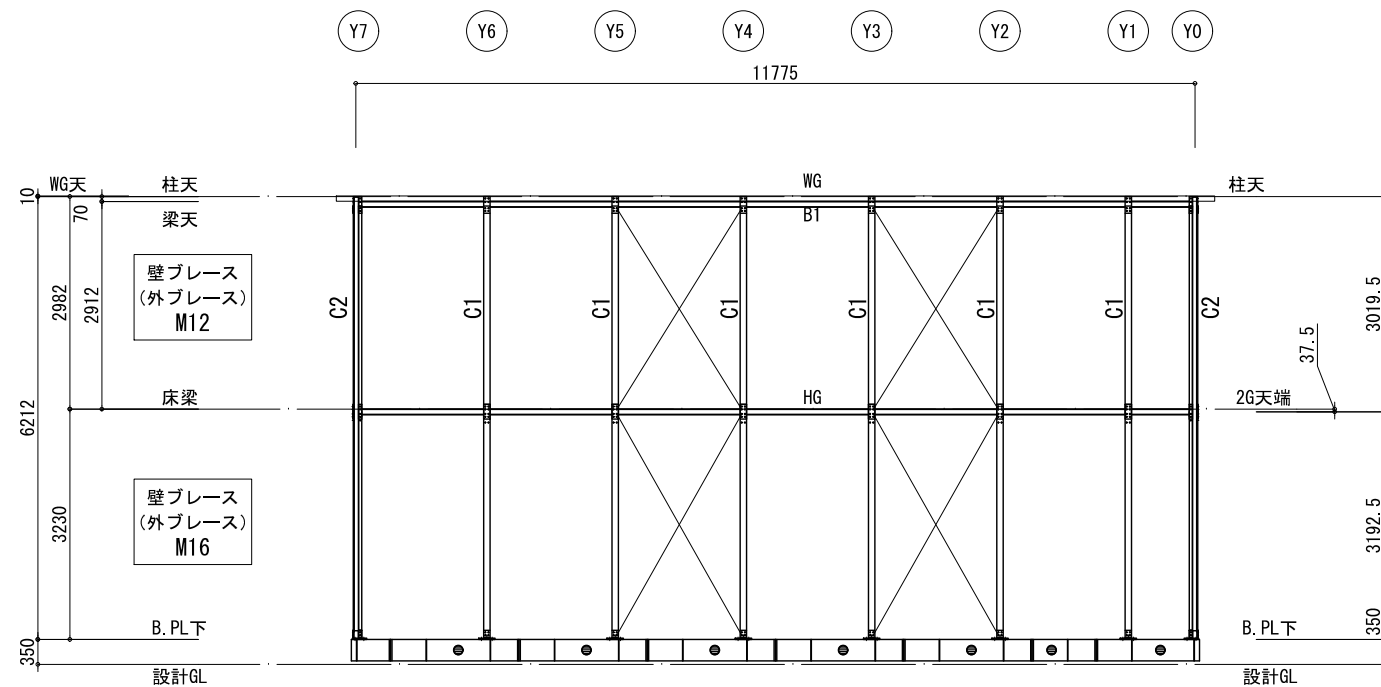
2階梁伏図



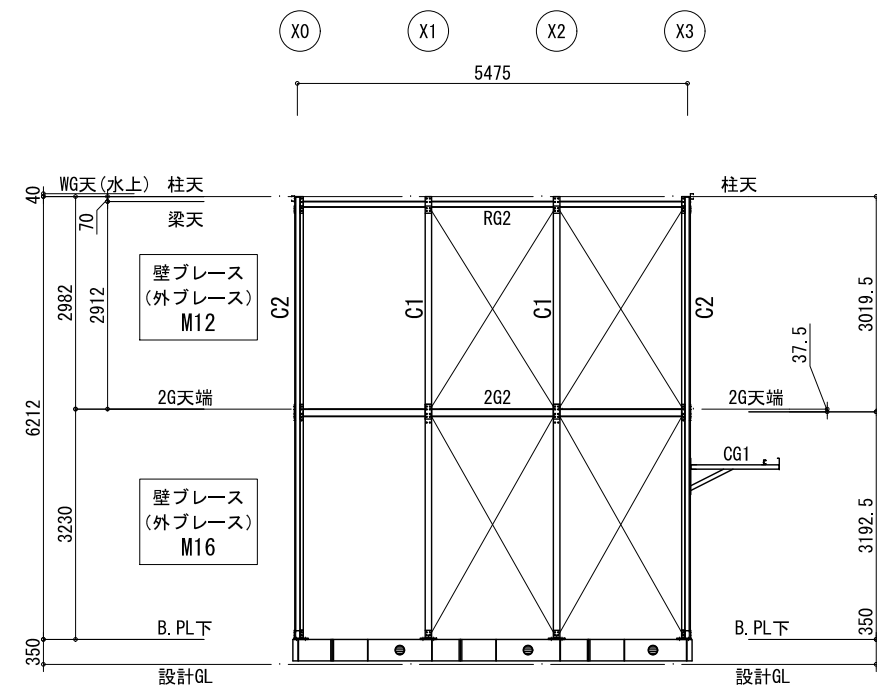
小屋伏図

凡例

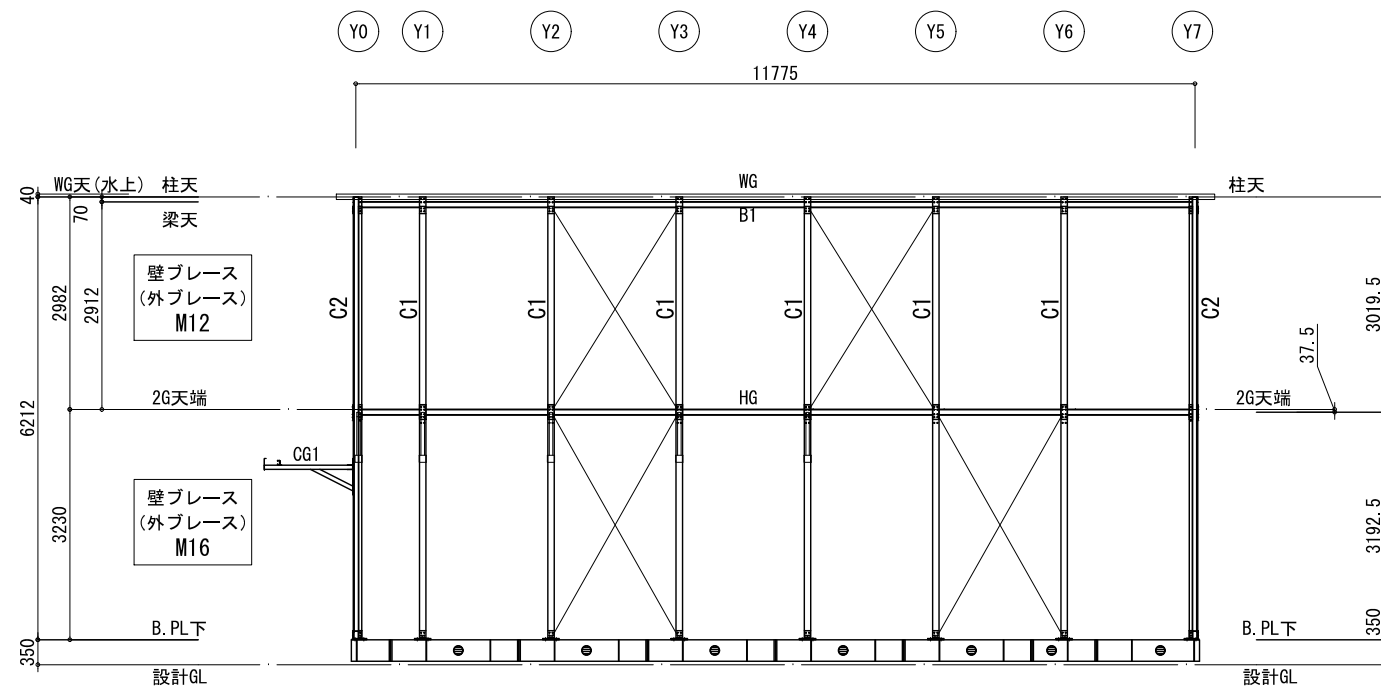
- ※ △ : 壁ブレースM12 1段 (外ブレース)
- ※ ▲ : 壁ブレースM16 1段 (外ブレース)
- ※ 水平ブレース M12



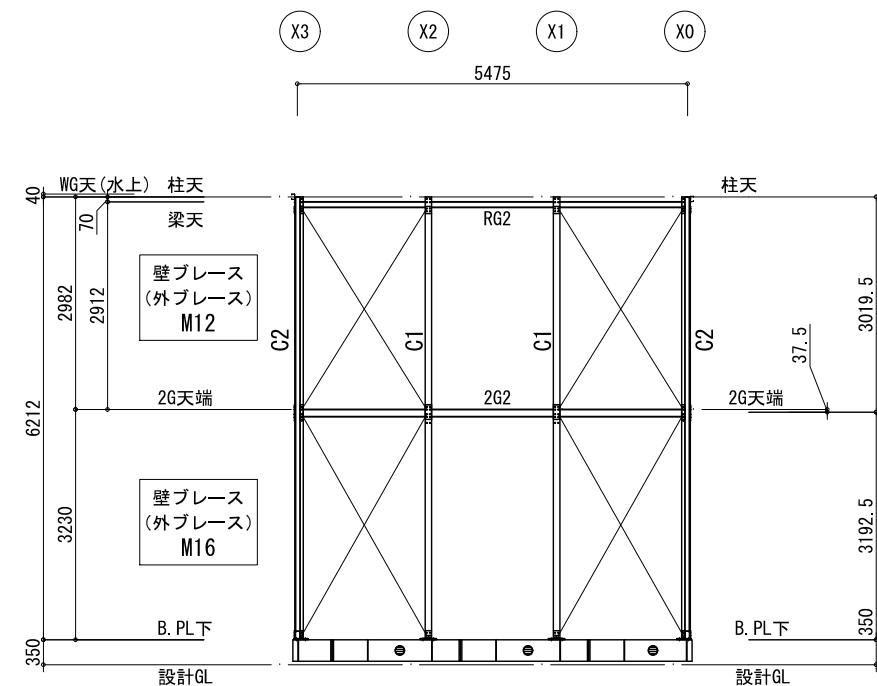
X0 軸組図



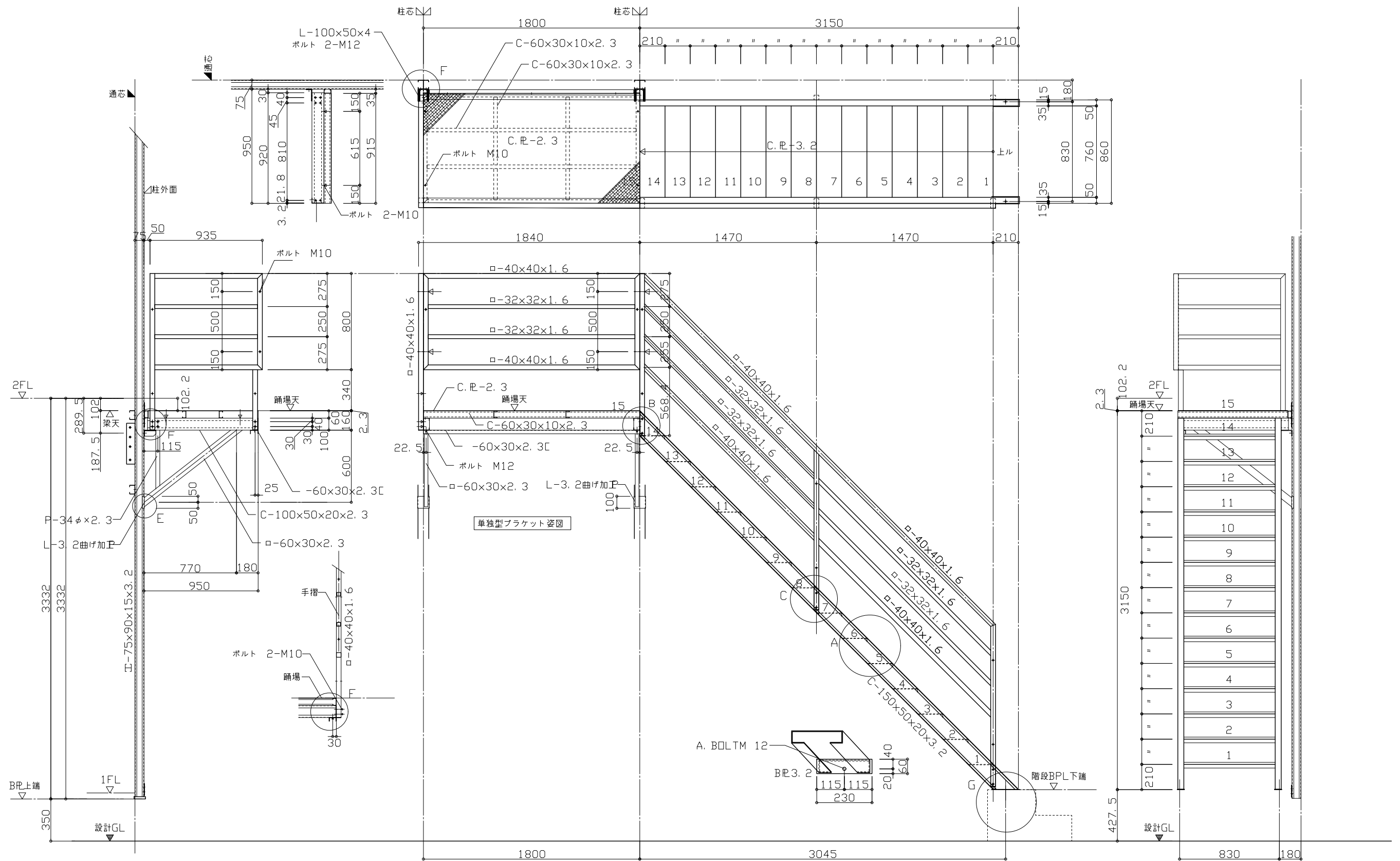
Y0 軸組図



X3 軸組図

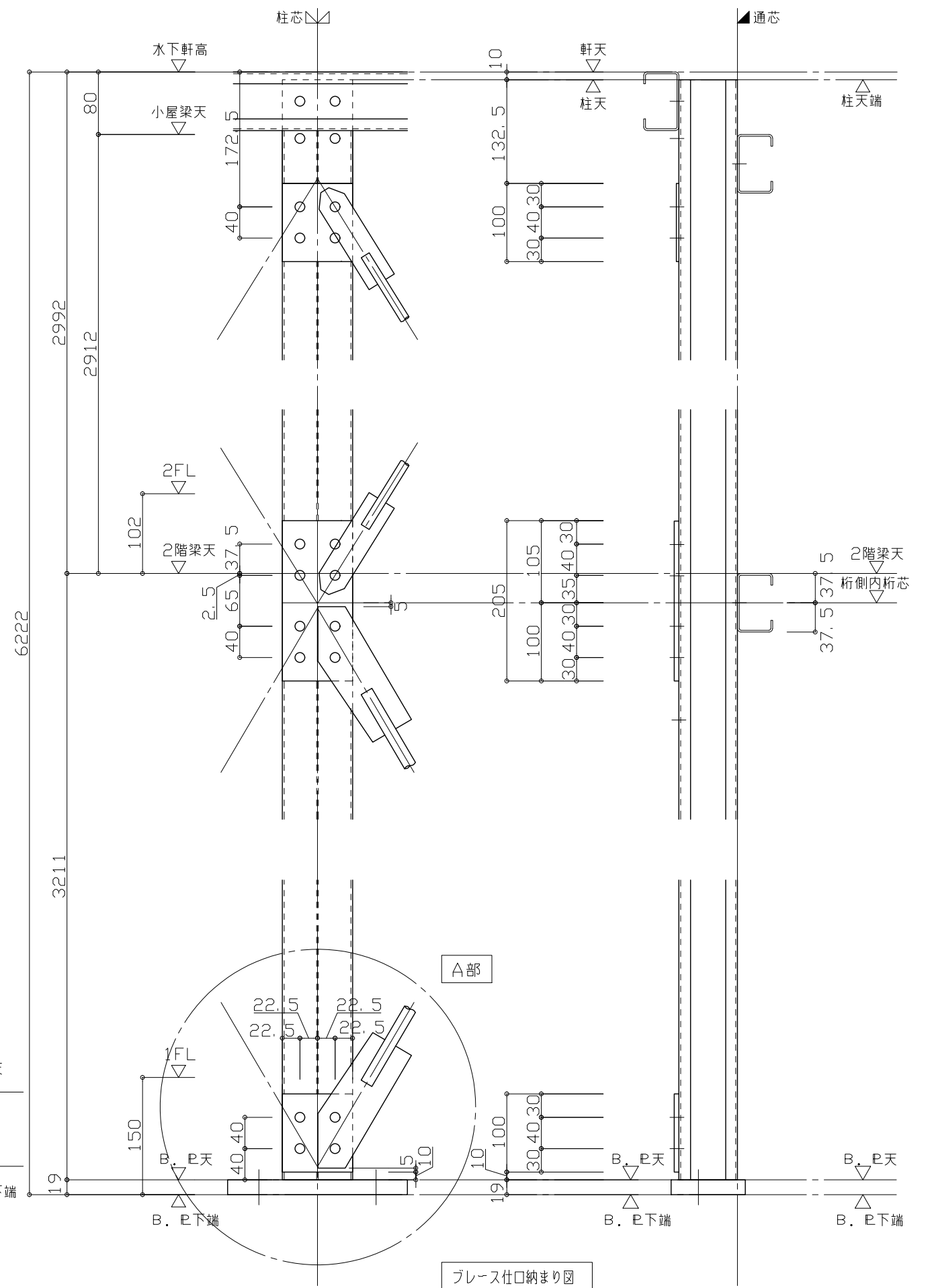
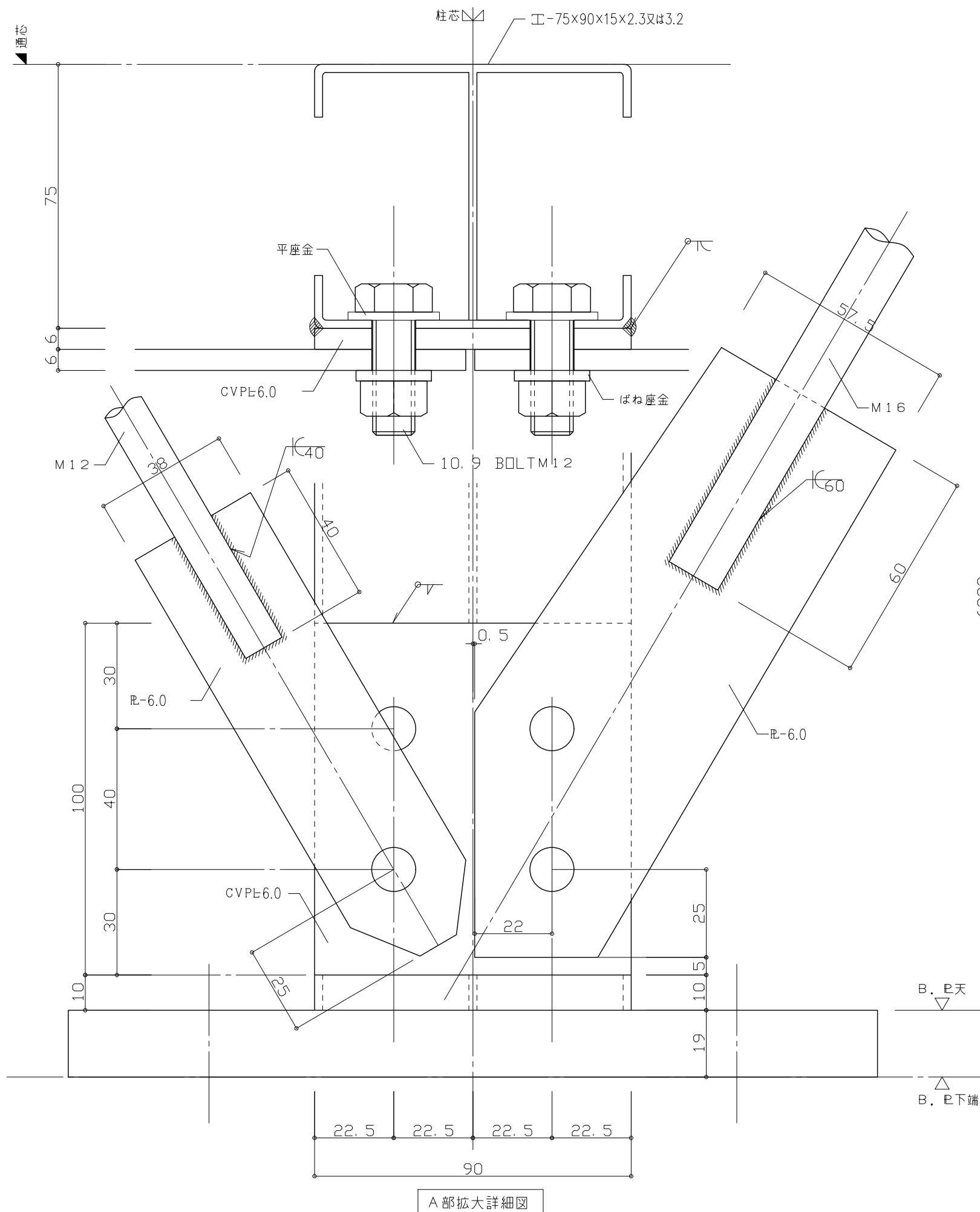


Y7 軸組図

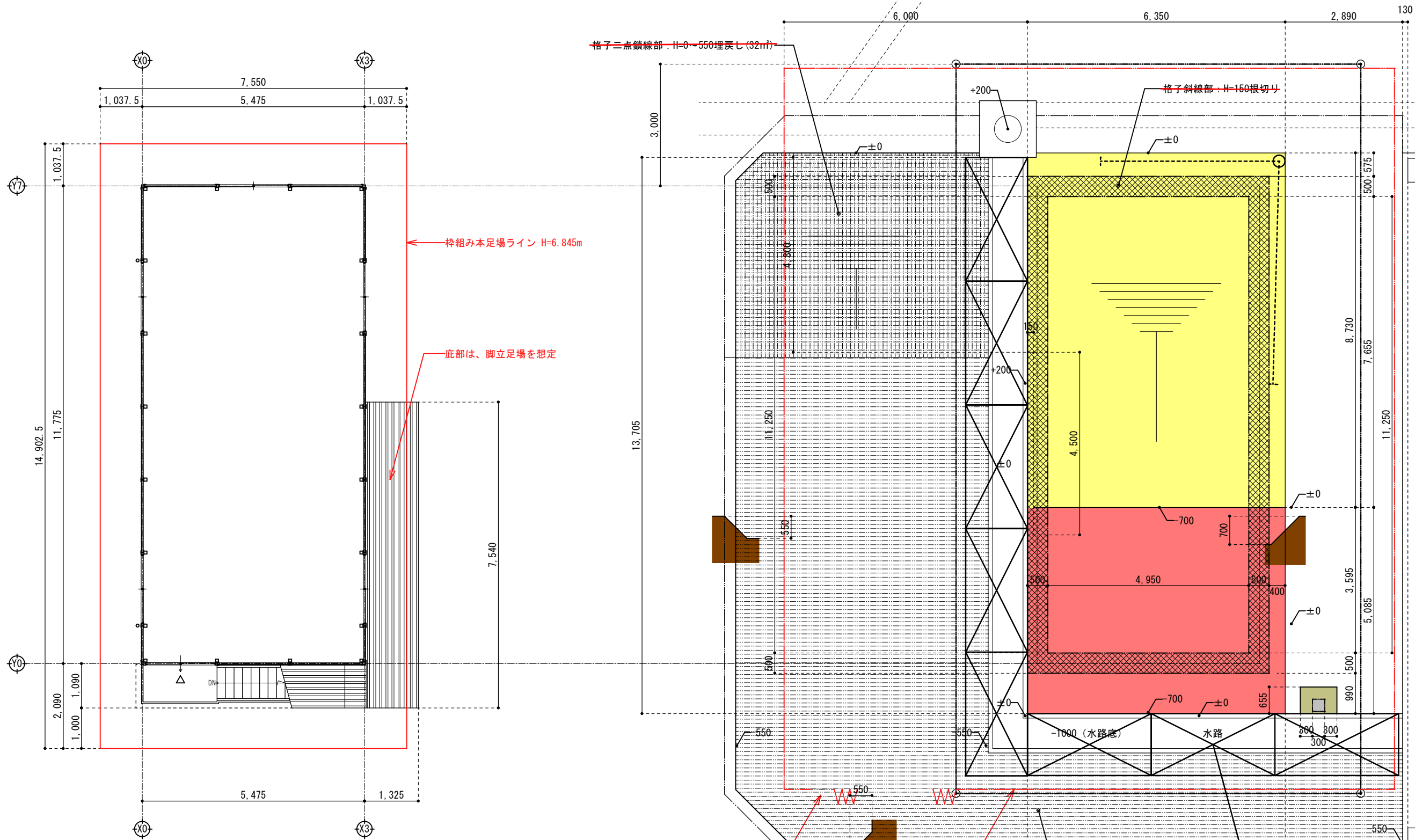


	株式会社 ごとう計画・設計 会社 goto planning design 1級建築士事務所 宮崎県宮崎市 第310283号 宇田津 直樹	〒880-0212 宮崎県宮崎市役所下町3375-1 TEL (0985)-73-8315 FAX (0985)-73-6978 E-mail: info@g-sekkel.net	製作年月日 担当者	工事名称 水産研究・教育センター（仮称）管理棟建設工事に伴う仮設管理棟賃貸 図面内容 外部階段詳細図	工事種別 新築 図面No. D-18
--	---	---	-------------------------------	--	--

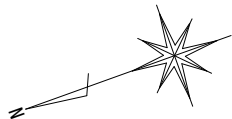
SCALE
A1: S=1/15
A3: S=1/30



 株式会社 ごとう計画・設計 1級建築士事務所 宮崎県知事登録 第1080号 1級建築士登録 第310283号 宇田津 直樹	〒880-0212 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂3375-1 TEL (0985)-73-6315 FAX (0985)-73-6978 E-mail: info@g-eekel.net	製作年月日	工事名称	工事種別
		担当者	水産研究・教育センター（仮称）管理棟建設工事に伴う仮設管理棟賃貸借 図面内容 壁ブレース詳細図 SCALE A1 : S=1/3 A3 : S=1/6	新築 図面No D-19



2階平面図



- | | | |
|----------------|--------|------------------|
| ① : H=700埋戻し | ④ : 欠番 | ⑦ : H=150根切り・埋戻し |
| ② : H=700~0埋戻し | ⑤ : 欠番 | ⑧ : H=150根切り |
| ③ : H=0~45埋戻し | ⑥ : 欠番 | |

~~+) 地盤改良 : (0.70x6.35x5.085) + (0.70/2)x6.35x0.70 = 42.0m³~~

仮設鉄板敷き (37.2㎡)

株式会社 ごとう計画・設計
goto planning・design
1級建築士事務所 登録第1060号
1級建築士登録 第310283号 宇田津 直樹

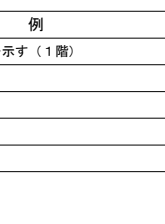
〒980-0212
宮城県宮城県佐土原町下郷3375-1
TEL (0985)-73-6315
FAX (0985)-73-6978
E-mail: info@g-sekkel.net

製作年月日
担当者

工事名称
水産研究・教育センター（仮称）管理棟建設工事に伴う仮設管理棟賃借
図面内容
直接仮設図、土工区分図（参考図）

SCALE
A1 : S=1/50
A3 : S=1/100

工事種別
新築
図面N°
D-20



注 記 ※仮設管理棟リース終了時撤去

- ・二重天井内は、ころがし配線とする。
- ・配線保護PF管は、仮設管理棟リリース工事とする。



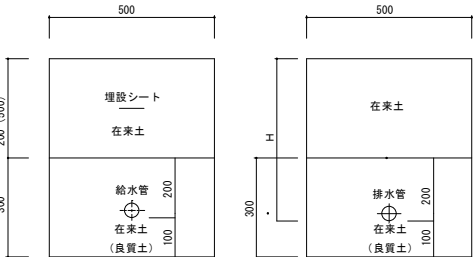
- | 記 号 | 機 器 名 称 |
|--|----------------------|
| ☐ TEL | コードレス電話用アンテナ |
| ☒ ① | 多機能電話機 |
| ☐ ② 子機 | コードレス電話機 |
| | |
| ☐ LAN | 無線LANアクセスポイント |
| ☐ LAN (ANT) | 無線LANアンテナ (接続ケーブル 共) |
| | |
| ☒ SP | ホーンスピーカ |

※取外し(新築管理棟へ移設)

排水樹リスト

樹番号	名 称	規 格	設計 G.L (mm)	樹深さ (mm)	蓋 仕 様
①	プラスチック樹	90L 100-150	±0	250	ライト蓋(コンクリート保護)
②	〃	90Y 100-150	±0	260	ライト蓋(コンクリート保護)
③	〃	90Y 100-150	±0	300	ライト蓋(コンクリート保護)
④	〃	ST 100-150	±0	410	防護蓋(T-14)
⑤	〃	ST 100-150	±0	550	ライト蓋(コンクリート保護)
⑥	〃	90L 100-150	±0	700	ライト蓋(コンクリート保護)
⑦	〃	ST 100-150	±0	800	ライト蓋(コンクリート保護)
⑧	〃	45L 100-150	±0	900	ライト蓋(コンクリート保護)
⑨	既設インバート樹		±0	970	

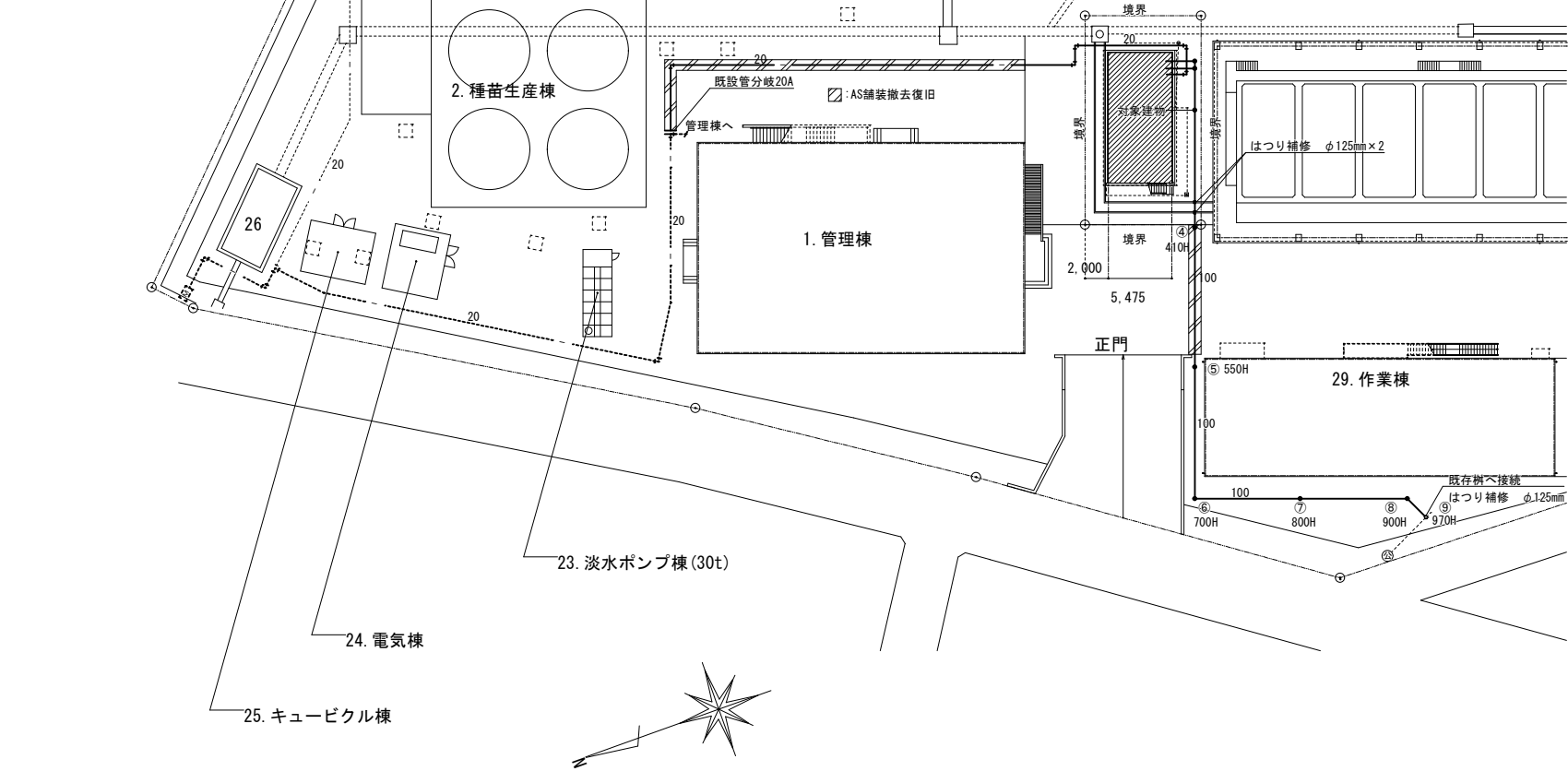
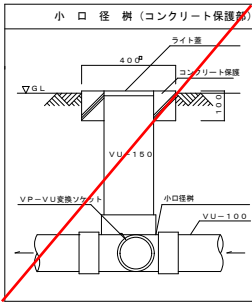
※排水樹の掃除口保護は延岡市排水設備技術基準による。



() 寸法は車輦道路部を示す。
排水管土工事の深さゆとり幅等の基準は
建築設備数量積算基準による。

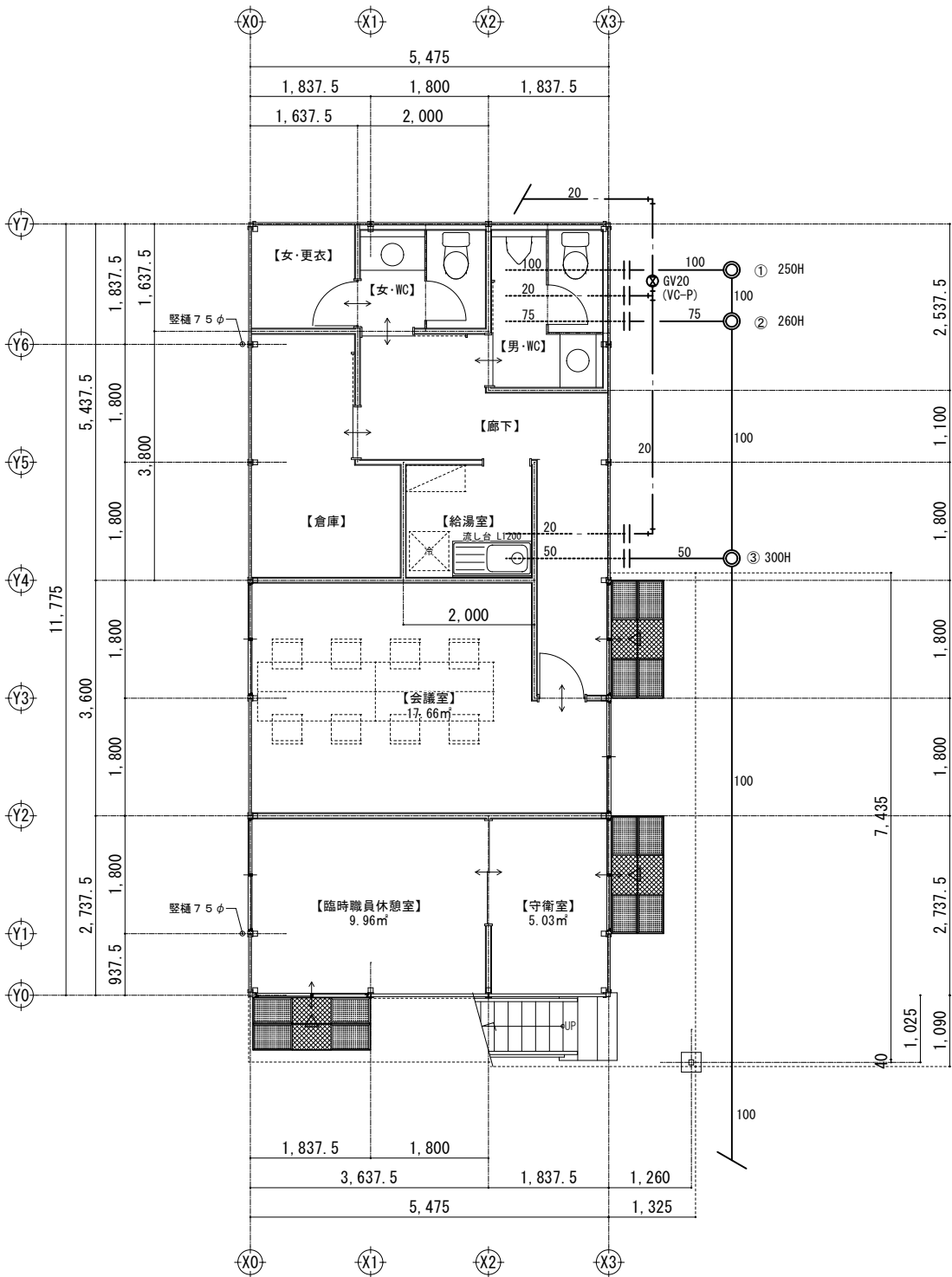
給水管掘削断面図

排水管掘削断面図



凡例

記 号	名 称	使 用 材 料	備 考
---	給水管 (上水)	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (H1VP)	埋設
---	排水管	硬質塩化ビニル管 (VP)	屋外埋設 (樹接続迄)
---	排水管	硬質塩化ビニル管 (VU)	屋外埋設 (樹間)



1 階平面図

||: 一次側工事配管に接続

※空調・換気・給湯設備等はリース工事にて行う
※建屋は2階建て (2階は執務室のみ)